
令和元年度

県政世論調査
(概要版)

香川県

目次

第1章 調査の概要 1

1. 調査目的.....	1
2. 調査項目.....	1
3. 調査設計.....	1
4. 回収状況.....	1
5. サンプル設計.....	1
6. 集計・分析方法.....	3
7. 報告書の見方.....	3

第2章 調査回答者の属性..... 5

1. 性別.....	5
2. 年齢.....	6
3. 職業.....	7
4. 圏域.....	8
5. 居住年数.....	9

第3章 調査の集計結果 11

1. 人権問題について.....	11
2. 環境施策について.....	35
3. 食習慣・生活習慣について.....	52
4. 高齢者の保健福祉について.....	64
5. 県公式ホームページについて.....	72
6. 県政の重要度と満足度について.....	78

<第1章 調査の概要>

第1章 調査の概要

1. 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査項目

- (1) 人権問題について
- (2) 環境施策について
- (3) 食習慣・生活習慣について
- (4) 高齢者の保健福祉について
- (5) 県公式ホームページについて
- (6) 県政の重要度と満足度について

3. 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 令和元年5月27日～6月17日

4. 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,530 (51.0%)

5. サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満18歳以上の県民
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 150地点 (市部：126地点、町部：24地点)
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

【 層 化 】

県内の市町（8市9町）を次のように5圏域に分類した。

圏域名	構成市町
1 高松圏域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2 東讃圏域	さぬき市・東かがわ市
3 小豆圏域	土庄町・小豆島町
4 中讃圏域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5 西讃圏域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって、

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

【 標本数の配分 】

各層における母集団数（平成31年3月1日現在の選挙人名簿登録者数）の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

【 抽 出 】

- ①第1次抽出単位となる調査地点として、平成31年3月1日現在の投票区を使用した。
- ②調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤調査地点における対象者の抽出は、調査地点（投票区）内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

【 圏域別・市町規模別 標本数および調査地点数 】 上段:母集団数 下段:標本数、()内は調査地点数

圏域 \ 市町別	高松市	高松市以外の市	町	計
1 高松圏域	354,420 1,289 (64)		46,933 171 (9)	401,353 1,460 (73)
2 東讃圏域		69,351 252 (13)		69,351 252 (13)
3 小豆圏域			25,261 92 (4)	25,261 92 (4)
4 中讃圏域		164,607 599 (30)	57,464 209 (11)	222,071 808 (41)
5 西讃圏域		106,667 388 (19)		106,667 388 (19)

6. 集計・分析方法

集計・分析にあたり、回答者の年齢階層の偏りを補正し、年齢別の集計ウェイトを乗じて標本数を規正（ウェイトバック集計）した。ウェイトバック集計した値は、この規正した標本数を基に回答者の割合（百分比%）等を算出している。なお、規正した標本数は、乗算結果の小数点以下第1位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

年齢区分	推定母集団		有効回答数		年齢ウェイト (A/B)
	実数(人)	構成比(%) A	実数(人)	構成比(%) B	
18～19 歳	19,015	2.4	14	0.9	2.553
20～29 歳	76,613	9.6	74	4.9	1.946
30～39 歳	99,955	12.5	162	10.8	1.160
40～49 歳	133,871	16.8	247	16.5	1.019
50～59 歳	111,524	14.0	249	16.6	0.842
60～69 歳	137,222	17.2	363	24.2	0.711
70 歳以上	219,311	27.5	390	26.0	1.057
合計	797,511	100.0	1,499	100.0	-

※1) 推定母集団は平成 30 年 10 月時点

※2) 構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

※3) 年齢ウェイトは小数点以下を含んだ各構成比から算出しており、小数点以下第 2 位を四捨五入した各構成比から算出したカッコ内の数値とは一致しない。

7. 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第 2 位を四捨五入した。このために、百分比の合計が 100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示している。このために、その比率の合計が 100.0%を超える場合がある。
- (3) 図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。また、設問で回答がなかった選択肢について、図中の比率表記（0.0%）を省略している。
- (4) 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次のとおりである。

N：質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数

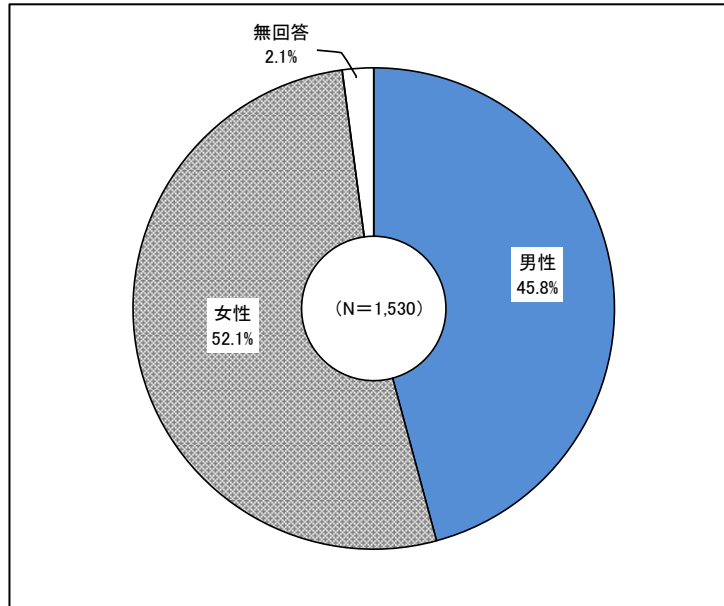
<第2章 調査回答者の属性>

第2章 調査回答者の属性

1. 性別

性別について、「男性」45.8%、「女性」52.1%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「男性」45.2%、「女性」52.7%となっている。



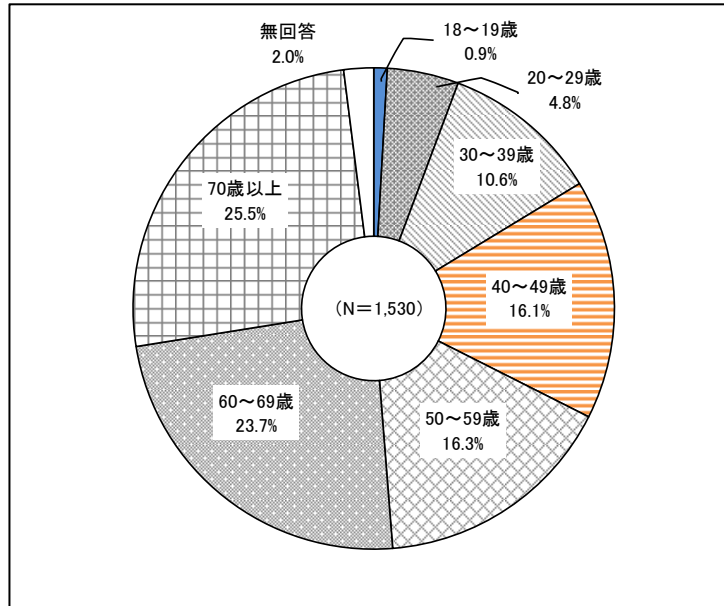
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
男性	701 (691)	45.8 (45.2)
女性	797 (807)	52.1 (52.7)
(無回答)	32 (32)	2.1 (2.1)
計	1,530(1,530)	100.0(100.0)

※ () 内の数字はウェイトバックした値

2. 年齢

年齢について、「70歳以上」25.5%が最も高く、次いで「60～69歳」23.7%、「50～59歳」16.3%、「40～49歳」16.1%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「70歳以上」26.9%が最も高く、次いで「60～69歳」16.9%、「40～49歳」16.4%、「50～59歳」13.7%などとなっている。



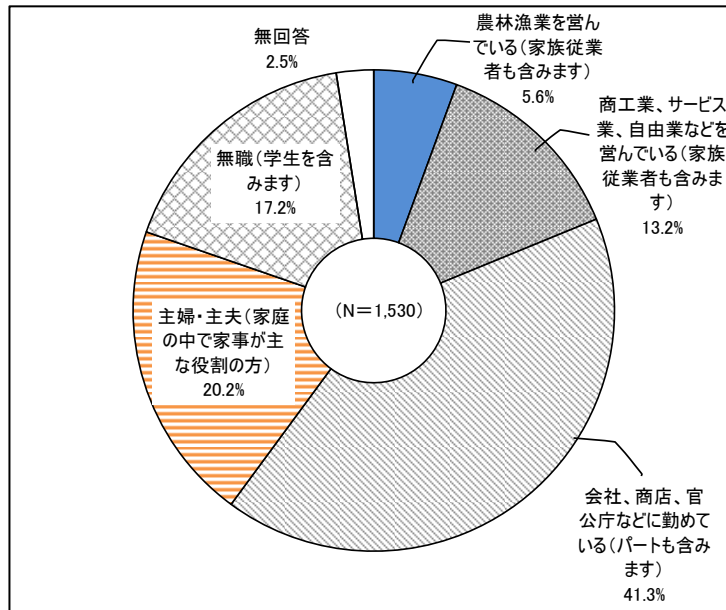
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
18～19歳	14 (36)	0.9 (2.3)
20～29歳	74 (144)	4.8 (9.4)
30～39歳	162 (188)	10.6 (12.3)
40～49歳	247 (252)	16.1 (16.4)
50～59歳	249 (210)	16.3 (13.7)
60～69歳	363 (258)	23.7 (16.9)
70歳以上	390 (412)	25.5 (26.9)
(無回答)	31 (31)	2.0 (2.0)
計	1,530 (1,531)	99.9 (99.9)

※ () 内の数字はウェイトバックした値

3. 職業

職業について、「会社、商店、官公庁などに勤めている」41.3%が最も高く、次いで「主婦・主夫」20.2%、「無職」17.2%、「商工業、サービス業、自由業などを営んでいる」13.2%、「農林漁業」5.6%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「会社、商店、官公庁などに勤めている」40.9%が最も高く、次いで「無職」19.0%、「主婦・主夫」18.8%、「商工業、サービス業、自由業などを営んでいる」13.6%、「農林漁業」5.3%となっている。



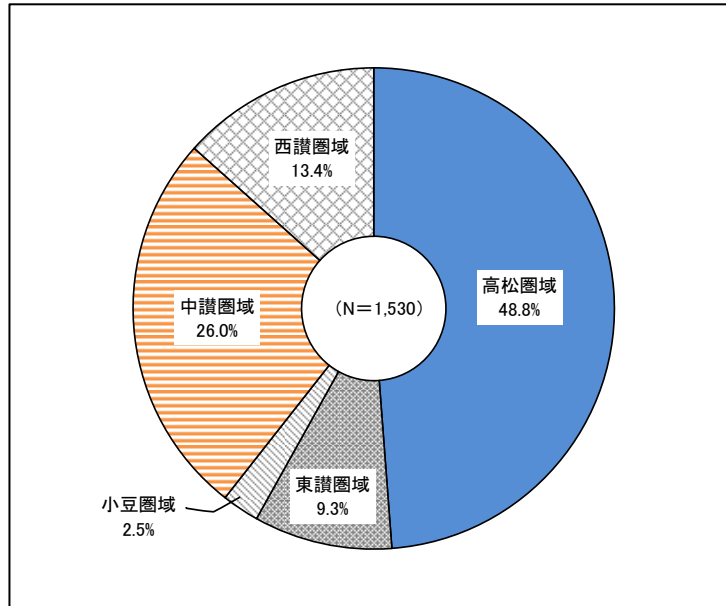
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
農林漁業	86 (81)	5.6 (5.3)
商工業、サービス業、自由業など	202 (208)	13.2 (13.6)
会社、商店、官公庁などに勤務	632 (625)	41.3 (40.9)
主婦・主夫	309 (288)	20.2 (18.8)
無職	263 (290)	17.2 (19.0)
(無回答)	38 (38)	2.5 (2.5)
計	1,530(1,530)	100.0 (100.1)

※ () 内の数字はウェイトバックした値

4. 圏域

圏域について、「高松圏域」48.8%が最も高く、次いで「中讃圏域」26.0%、「西讃圏域」13.4%、「東讃圏域」9.3%、「小豆圏域」2.5%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「高松圏域」48.5%が最も高く、次いで「中讃圏域」25.9%、「西讃圏域」13.6%、「東讃圏域」9.4%、「小豆圏域」2.6%となっている。



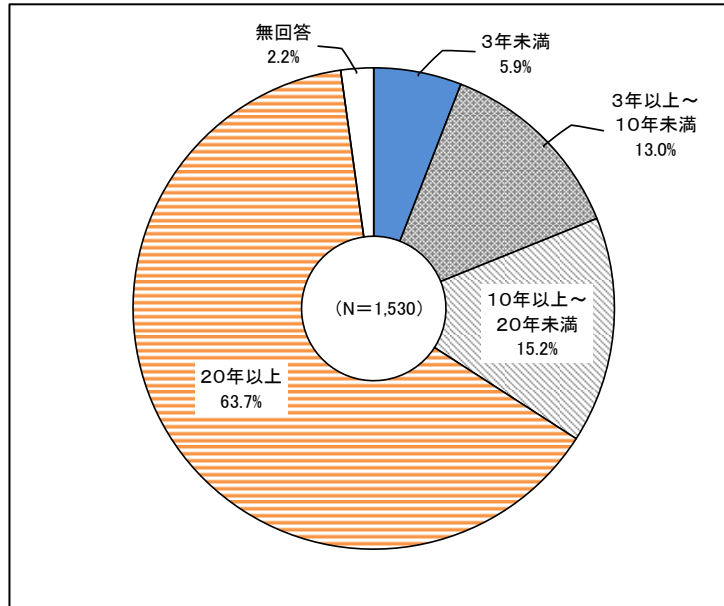
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
高松圏域	746 (742)	48.8 (48.5)
東讃圏域	142 (144)	9.3 (9.4)
小豆圏域	39 (40)	2.5 (2.6)
中讃圏域	398 (396)	26.0 (25.9)
西讃圏域	205 (208)	13.4 (13.6)
計	1,530 (1,530)	100.0 (100.0)

※ () 内の数字はウェイトバックした値

5. 居住年数

居住年数について、「20年以上」63.7%が最も高く、次いで「10年以上～20年未満」15.2%、「3年以上～10年未満」13.0%、「3年未満」5.9%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「20年以上」59.8%が最も高く、次いで「10年以上～20年未満」16.3%、「3年以上～10年未満」14.3%、「3年未満」7.3%となっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
3年未満	91 (112)	5.9 (7.3)
3年以上～10年未満	199 (219)	13.0 (14.3)
10年以上～20年未満	232 (249)	15.2 (16.3)
20年以上	974 (916)	63.7 (59.8)
(無回答)	34 (34)	2.2 (2.2)
計	1,530 (1,530)	100.0 (99.9)

※ () 内の数字はウェイトバックした値

<第3章 調査の集計結果>

第3章 調査の集計結果

1. 人権問題について

(1)人権の尊重について

問1 今の日本は人権が尊重されている社会であると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

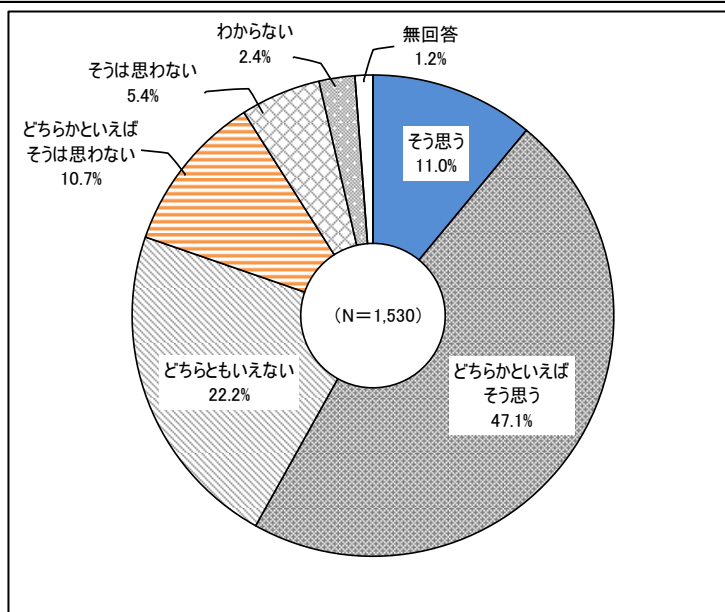
【回答者数=1,530】

1 そう思う	11.0% (11.1%)
2 どちらかといえばそう思う	47.1% (46.6%)
3 どちらともいえない	22.2% (22.3%)
4 どちらかといえばそうは思わない	10.7% (10.8%)
5 そうは思わない	5.4% (5.7%)
6 わからない	2.4% (2.4%)
(無回答)	1.2% (1.1%)

人権の尊重について、「どちらかといえばそう思う」47.1%が最も高く、次いで「どちらともいえない」22.2%、「そう思う」11.0%、「どちらかといえばそうは思わない」10.7%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「どちらかといえばそう思う」46.6%が最も高く、次いで「どちらともいえない」22.3%、「そう思う」11.1%、「どちらかといえばそうは思わない」10.8%となっている。

図表 1-(1)-1 人権の尊重について



(2)人権侵害について

問2 この5～6年間に、日本で人権が侵害されるようなことが、少なくなってきたと思いますか、多くなってきたと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

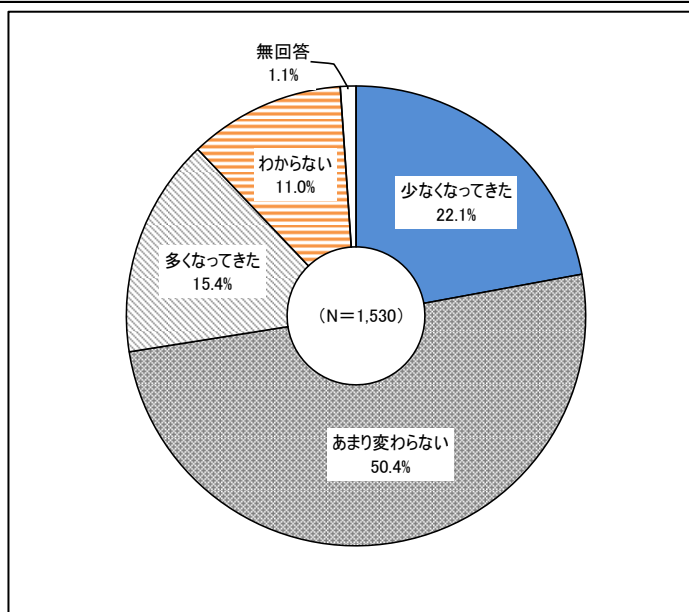
【回答者数=1,530】

1 少なくなってきた	22.1% (21.9%)
2 あまり変わらない	50.4% (50.9%)
3 多くなってきた	15.4% (15.2%)
4 わからない	11.0% (11.0%)
(無回答)	1.1% (1.0%)

人権侵害について、「あまり変わらない」50.4%が最も高く、次いで「少なくなってきた」22.1%、「多くなってきた」15.4%、「わからない」11.0%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「あまり変わらない」50.9%が最も高く、次いで「少なくなってきた」21.9%、「多くなってきた」15.2%、「わからない」11.0%となっている。

図表 1-(2)-1 人権侵害について



(3)人権を侵害されたと思ったことについて

問3 あなた、または、あなたの家族が、今までに人権を侵害されたと思ったことがありますか。
どちらか1つだけ選んでください。

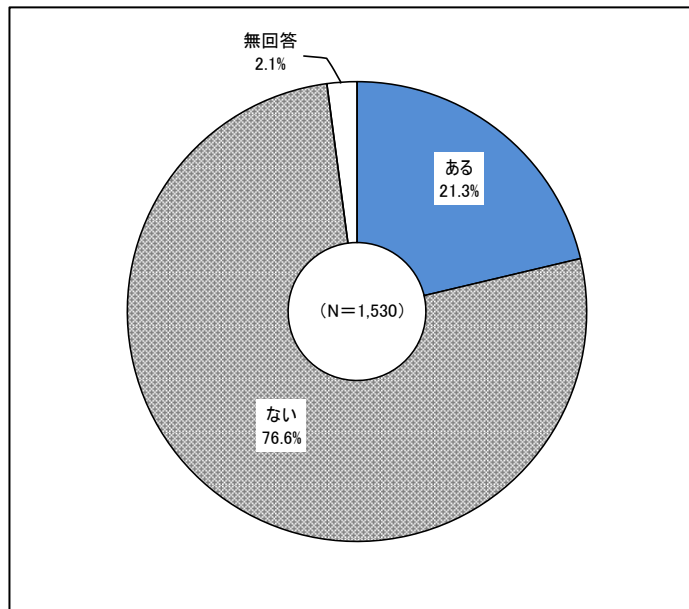
※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】

1 ある	21.3% (21.3%)
2 ない	76.6% (76.7%)
(無回答)	2.1% (2.0%)

人権を侵害されたと思ったことについて、「ある」21.3%、「ない」76.6%となっている。
ウェイトバック集計した値をみると、「ある」21.3%、「ない」76.7%となっている。

図表 1-(3)-1 人権を侵害されたと思ったことについて



(4)人権を侵害されたと思った時期について

問3 それはいつですか。直近の1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

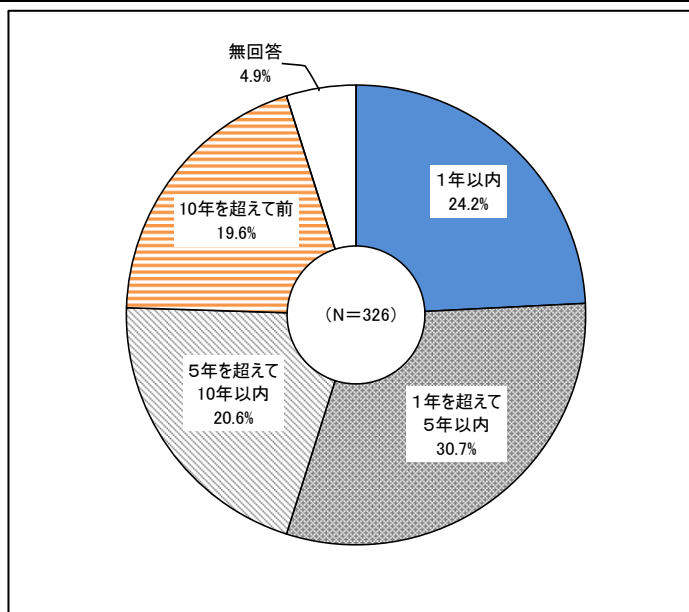
【回答者数=326】

1	1年以内	24.2% (25.7%)
2	1年を超えて5年以内	30.7% (30.8%)
3	5年を超えて10年以内	20.6% (20.9%)
4	10年を超えて前	19.6% (17.8%)
	(無回答)	4.9% (4.8%)

人権を侵害されたと思った時期について、「1年を超えて5年以内」30.7%が最も高く、次いで「1年以内」24.2%、「5年を超えて10年以内」20.6%、「10年を超えて前」19.6%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「1年を超えて5年以内」30.8%が最も高く、次いで「1年以内」25.7%、「5年を超えて10年以内」20.9%、「10年を超えて前」17.8%となっている。

図表 1-(4)-1 人権を侵害されたと思った時期について



(5)人権を侵害された内容について

【問3で「1」と答えた方にお聞きします】

付問1 あなた、または、あなたの家族は、どのようなことで人権が侵害されたと思いますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=326】※回答数の多い順に並び替え

1	あらぬうわさ、悪口、かげ口	43.6% (45.0%)
2	名誉や信用を傷つけられた、侮辱された	32.5% (32.7%)
3	職場での不当な待遇	29.4% (29.4%)
4	なかまはずれ、嫌がらせ	28.5% (29.6%)
5	差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分などにより、不平等または不利益な取り扱いをされた）	20.2% (20.3%)
6	プライバシーの侵害	17.2% (17.9%)
7	学校での不当な待遇	11.3% (12.1%)
8	セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	4.6% (5.4%)
9	家庭内暴力	4.3% (4.5%)
10	ストーカー行為	3.1% (3.3%)
11	虐待	1.5% (1.6%)
12	その他	5.5% (5.0%)
	（無回答）	1.5% (1.4%)

人権を侵害された内容について、「あらぬうわさ、悪口、かげ口」43.6%が最も高く、次いで「名誉や信用を傷つけられた、侮辱された」32.5%、「職場での不当な待遇」29.4%、「なかまはずれ、嫌がらせ」28.5%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「あらぬうわさ、悪口、かげ口」45.0%が最も高く、次いで「名誉や信用を傷つけられた、侮辱された」32.7%、「なかまはずれ、嫌がらせ」29.6%、「職場での不当な待遇」29.4%などとなっている。

図表 1-(5)-1 人権を侵害された内容について

		回答数
全体	100.0	326 人
(1) あらぬうわさ、悪口、かげ口	43.6	142 人
(2) 名誉や信用を傷つけられた、侮辱された	32.5	106 人
(3) 職場での不当な待遇	29.4	96 人
(4) なかまはずれ、嫌がらせ	28.5	93 人
(5) 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分などにより、不平等または不利益な取り扱いをされた)	20.2	66 人
(6) プライバシーの侵害	17.2	56 人
(7) 学校での不当な待遇	11.3	37 人
(8) セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	4.6	15 人
(9) 家庭内暴力	4.3	14 人
(10) ストーカー行為	3.1	10 人
(11) 虐待	1.5	5 人
(12) その他	5.5	18 人
無回答	1.5	5 人

グラフ単位:(%)

(6)人権侵害があった時の対応について

付問2 人権侵害があった時、どのような対応をされましたか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=326】※回答数の多い順に並び替え

1	何もせず、我慢した	51.2% (50.2%)
2	家族・親戚に相談した	32.5% (34.9%)
3	友だち・同僚・職場の上司に相談した	27.0% (28.0%)
4	相手に抗議するなど自分で処理（解決）した	24.2% (25.8%)
5	県庁・市役所・町役場・学校・隣保館に相談した	8.6% (8.3%)
6	警察に相談した	8.0% (8.6%)
7	弁護士に相談した	4.6% (4.7%)
8	地域の自治会長や民生委員・児童委員に相談した	2.1% (2.0%)
9	民間団体などに相談した	1.8% (1.8%)
10	法務局又は人権擁護委員に相談した	1.5% (1.6%)
11	その他	1.5% (1.5%)
	(無回答)	0.9% (0.8%)

人権侵害があった時の対応について、「何もせず、我慢した」51.2%が最も高く、次いで「家族・親戚に相談した」32.5%、「友だち・同僚・職場の上司に相談した」27.0%、「相手に抗議するなど自分で処理（解決）した」24.2%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「何もせず、我慢した」50.2%が最も高く、次いで「家族・親戚に相談した」34.9%、「友だち・同僚・職場の上司に相談した」28.0%、「相手に抗議するなど自分で処理（解決）した」25.8%などとなっている。

図表 1-(6)-1 人権侵害があった時の対応について

		回答数
全体	100.0	326 人
(1) 何もせず、我慢した	51.2	167 人
(2) 家族・親戚に相談した	32.5	106 人
(3) 友だち・同僚・職場の上司に相談した	27.0	88 人
(4) 相手に抗議するなど自分で処理(解決)した	24.2	79 人
(5) 県庁・市役所・町役場・学校・隣保館に相談した	8.6	28 人
(6) 警察に相談した	8.0	26 人
(7) 弁護士に相談した	4.6	15 人
(8) 地域の自治会長や民生委員・児童委員に相談した	2.1	7 人
(9) 民間団体などに相談した	1.8	6 人
(10) 法務局又は人権擁護委員に相談した	1.5	5 人
(11) その他	1.5	5 人
無回答	0.9	3 人

グラフ単位：(%)

(7)人権侵害を見聞きした時の対応について

問4 もし職場や地域などで、人権侵害と思われる差別的な言葉や動作を見聞きしたとき、あなたは、どのようにすると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

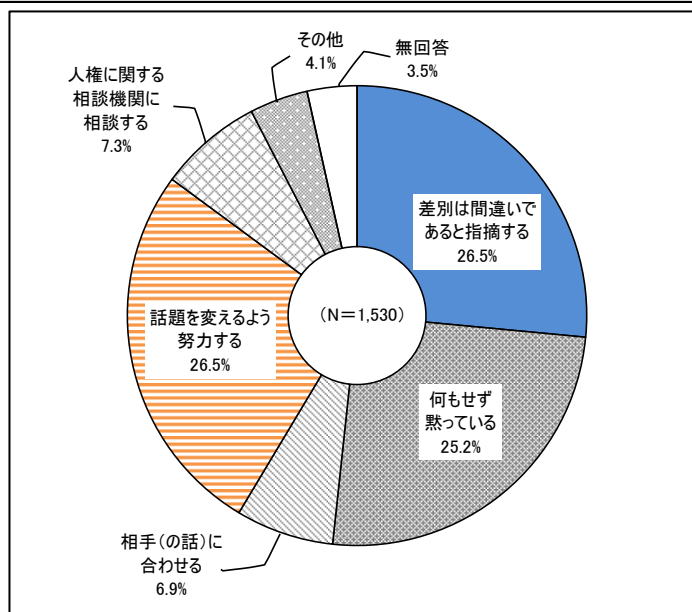
【回答者数=1,530】

1 差別は間違いであると指摘する	26.5% (26.2%)
2 何もせず黙っている	25.2% (24.6%)
3 相手(の話)に合わせる	6.9% (6.8%)
4 話題を変えるよう努力する	26.5% (28.1%)
5 人権に関する相談機関に相談する	7.3% (6.9%)
6 その他	4.1% (4.0%)
(無回答)	3.5% (3.4%)

人権侵害を見聞きした時の対応について、「差別は間違いであると指摘する」、「話題を変えるよう努力する」が同率の26.5%で最も高く、次いで「何もせず黙っている」25.2%、「人権に関する相談機関に相談する」7.3%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「話題を変えるよう努力する」28.1%が最も高く、次いで「差別は間違いであると指摘する」26.2%、「何もせず黙っている」24.6%などとなっている。

図表 1-(7)-1 人権侵害を見聞きした時の対応について



(8)関心のある人権課題について

問5 日本における人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1 障害者	54.2% (54.4%)
2 インターネットによる人権侵害	43.5% (43.8%)
3 子ども	39.7% (39.5%)
4 女性	37.7% (38.8%)
5 高齢者	37.5% (36.5%)
6 東日本大震災に伴う放射線被ばくについての風評被害	30.7% (30.1%)
7 同和問題	26.0% (25.1%)
8 北朝鮮当局による拉致問題など	25.8% (24.4%)
9 犯罪被害者など	19.0% (19.2%)
10 性的少数者（同性愛、性同一性障害など）	17.2% (18.4%)
11 ハンセン病回復者、H I V感染者など	15.5% (15.4%)
12 外国人	14.8% (15.5%)
13 刑を終えて出所した人	11.7% (11.4%)
14 ホームレス	9.2% (8.9%)
15 人身取引	9.2% (9.0%)
16 アイヌの人々	4.7% (5.0%)
17 その他	1.7% (1.6%)
18 特にない	5.0% (4.9%)
(無回答)	1.2% (1.1%)

関心のある人権課題について、「障害者」54.2%が最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」43.5%、「子ども」39.7%、「女性」37.7%、「高齢者」37.5%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「障害者」54.4%が最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」43.8%、「子ども」39.5%、「女性」38.8%、「高齢者」36.5%などとなっている。

図表 1-(8)-1 関心のある人権課題について

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 障害者	54.2	830 人
(2) インターネットによる人権侵害	43.5	666 人
(3) 子ども	39.7	608 人
(4) 女性	37.7	577 人
(5) 高齢者	37.5	574 人
(6) 東日本大震災に伴う放射線被ばくについての風評被害	30.7	469 人
(7) 同和問題	26.0	398 人
(8) 北朝鮮当局による拉致問題など	25.8	395 人
(9) 犯罪被害者など	19.0	290 人
(10) 性的少数者(同性愛、性同一性障害など)	17.2	263 人
(11) ハンセン病回復者、HIV感染者など	15.5	237 人
(12) 外国人	14.8	227 人
(13) 刑を終えて出所した人	11.7	179 人
(14) ホームレス	9.2	141 人
(15) 人身取引	9.2	140 人
(16) アイヌの人々	4.7	72 人
(17) その他	1.7	26 人
(18) 特にない	5.0	76 人
無回答	1.2	18 人

グラフ単位：(%)

(9)人権に関わる宣言、法律、条例、計画、啓発行事のうち知っている項目について

問6 人権に関わる宣言、法律、条例、計画、啓発行事のうち、あなたが知っている項目はありますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1	世界人権宣言	50.7% (51.6%)
2	人権週間（12月4日～10日）	40.6% (40.4%)
3	部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）	31.4% (31.6%)
4	憲法週間（5月1日～7日）	24.0% (22.8%)
5	同和問題啓発強調月間（8月）	23.3% (21.9%)
6	本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の 推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）	17.6% (17.8%)
7	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	15.3% (15.3%)
8	香川県部落差別事象の発生の防止に関する条例	10.7% (10.3%)
9	香川県人権教育・啓発に関する基本計画	10.0% (9.6%)
10	特にない	23.1% (22.9%)
	（無回答）	4.2% (4.1%)

人権に関わる宣言、法律、条例、計画、啓発行事のうち知っている項目について、「世界人権宣言」50.7%が最も高く、次いで「人権週間（12月4日～10日）」40.6%、「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」31.4%、「憲法週間（5月1日～7日）」24.0%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「世界人権宣言」51.6%が最も高く、次いで「人権週間（12月4日～10日）」40.4%、「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」31.6%、「特にない」22.9%などとなっている。

図表 1-(9)-1 人権に関わる宣言、法律、条例、計画、啓発行事のうち知っている項目について

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 世界人権宣言	50.7	775 人
(2) 人権週間(12月4日～10日)	40.6	621 人
(3) 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)	31.4	481 人
(4) 憲法週間(5月1日～7日)	24.0	367 人
(5) 同和問題啓発強調月間(8月)	23.3	356 人
(6) 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(ハイトスピーチ解消法)	17.6	269 人
(7) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	15.3	234 人
(8) 香川県部落差別事象の発生の防止に関する条例	10.7	164 人
(9) 香川県人権教育・啓発に関する基本計画	10.0	153 人
(10) 特にない	23.1	354 人
無回答	4.2	64 人

グラフ単位:(%)

(10)「同和問題」、「部落差別」について

問7 多くの人権課題がある中で、日本の社会に「同和問題」、「部落差別」などといわれる問題があることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

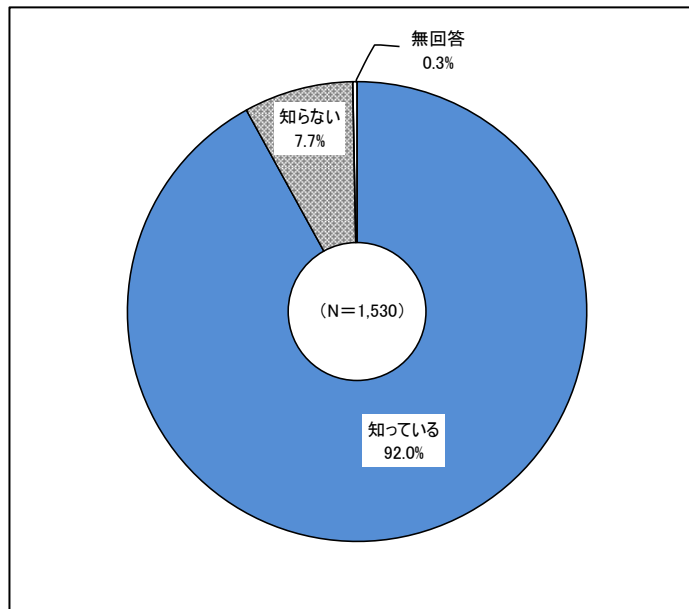
※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】

1 知っている	92.0% (91.4%)
2 知らない	7.7% (8.3%)
(無回答)	0.3% (0.3%)

「同和問題」、「部落差別」について、「知っている」92.0%、「知らない」7.7%となっている。ウェイトバック集計した値をみると、「知っている」91.4%、「知らない」8.3%となっている。

図表 1-(10)-1 「同和問題」、「部落差別」について



(11) 同和問題を初めて知ったきっかけについて

【問7で「1」と答えた方にお聞きします】

付問3 同和問題について、あなたが初めて知ったきっかけは何ですか。次の中から1つだけ選んでください。※回答数の多い順に並び替え

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,407】

1 家族から聞いた	38.5% (36.3%)
2 学校の授業	31.6% (35.0%)
3 近所の人から聞いた	7.0% (6.6%)
4 講演会・研修会など	6.8% (6.5%)
5 職場の人から聞いた	5.5% (5.1%)
6 テレビ、新聞、など	5.4% (5.1%)
7 インターネット	0.1% (0.1%)
8 その他	2.2% (2.1%)
9 わからない	1.6% (1.5%)
(無回答)	1.4% (1.4%)

同和問題を初めて知ったきっかけについて、「家族から聞いた」38.5%が最も高く、次いで「学校の授業」31.6%、「近所の人から聞いた」7.0%、「講演会・研修会など」6.8%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「家族から聞いた」36.3%が最も高く、次いで「学校の授業」35.0%、「近所の人から聞いた」6.6%、「講演会・研修会など」6.5%などとなっている。

図表 1-(11)-1 同和問題を初めて知ったきっかけについて

		回答数
全体	100.0	1,407 人
(1) 家族から聞いた	38.5	542 人
(2) 学校の授業	31.6	445 人
(3) 近所の人から聞いた	7.0	98 人
(4) 講演会・研修会など	6.8	95 人
(5) 職場の人から聞いた	5.5	77 人
(6) テレビ、新聞、など	5.4	76 人
(7) インターネット	0.1	1 人
(8) その他	2.2	31 人
(9) わからない	1.6	22 人
無回答	1.4	20 人

グラフ単位：(%)

(12) 同和問題に関して見聞きしたことがある内容について

付問4 同和問題に関して、あなたは、これまで、どのような差別を見聞きしたことがありますか。
次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,407】※回答数の多い順に並び替え

1	結婚問題での周囲の反対	61.5% (59.9%)
2	差別的な言動	42.7% (42.8%)
3	身元調査を実施すること	35.0% (33.2%)
4	地域の活動や付き合いでの差別・不利な扱い	15.4% (15.7%)
5	就職・職場での差別・不利な扱い	14.6% (15.0%)
6	土地差別調査（土地や建物の取引に関連して、同和地区の有無などの差別的な調査をすること）の実施	12.7% (12.2%)
7	インターネットを悪用した差別的な情報の掲載	8.5% (9.7%)
8	差別的な落書き	4.8% (4.7%)
9	その他	1.3% (1.2%)
10	特になし	13.2% (13.4%)
11	わからない	3.4% (3.7%)
	(無回答)	0.9% (1.0%)

同和問題に関して見聞きしたことがある内容について、「結婚問題での周囲の反対」61.5%が最も高く、次いで「差別的な言動」42.7%、「身元調査を実施すること」35.0%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「結婚問題での周囲の反対」59.9%が最も高く、次いで「差別的な言動」42.8%、「身元調査を実施すること」33.2%などとなっている。

図表 1-(12)-1 同和問題に関して見聞きしたことがある内容について

		回答数
全体	100.0	1,407 人
(1) 結婚問題での周囲の反対	61.5	866 人
(2) 差別的な言動	42.7	601 人
(3) 身元調査を実施すること	35.0	492 人
(4) 地域の活動や付き合いでの差別・不利な扱い	15.4	217 人
(5) 就職・職場での差別・不利な扱い	14.6	205 人
(6) 土地差別調査(土地や建物の取引に関連して、同和地区の有無などの差別的な調査をすること)の実施	12.7	179 人
(7) インターネットを悪用した差別的な情報の掲載	8.5	119 人
(8) 差別的な落書き	4.8	68 人
(9) その他	1.3	18 人
(10) 特にない	13.2	186 人
(11) わからない	3.4	48 人
無回答	0.9	13 人

グラフ単位:(%)

(13) 同和問題を解決するために必要と思われることについて

付問5 同和問題を解決するために必要と思われることは何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,407】 ※回答数の多い順に並び替え

1	人権全般にわたっての意識を高める	48.7% (48.5%)
2	家庭で子どもに差別しないように教える	41.6% (42.3%)
3	えせ同和行為(差別を利用した不当要求行為)を排除する	28.6% (27.8%)
4	啓発・広報活動を推進する	26.3% (26.0%)
5	どのようにしても差別はなくなる	20.7% (20.7%)
6	相談活動を充実する	16.7% (16.8%)
7	そっとしておけば差別は自然になくなる	16.2% (15.9%)
8	差別に関わることを見聞きしたときは、その場で注意する	14.4% (15.0%)
9	人権が侵害された被害者の救済制度を充実する	14.1% (15.1%)
10	相互の理解を深める交流会を開催する	12.9% (12.9%)
11	その他	4.4% (4.5%)
12	わからない	6.1% (6.0%)
	(無回答)	1.1% (1.0%)

同和問題を解決するために必要と思われることについて、「人権全般にわたっての意識を高める」48.7%が最も高く、次いで「家庭で子どもに差別しないように教える」41.6%、「えせ同和行為(差別を利用した不当要求行為)を排除する」28.6%、「啓発・広報活動を推進する」26.3%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「人権全般にわたっての意識を高める」48.5%が最も高く、次いで「家庭で子どもに差別しないように教える」42.3%、「えせ同和行為(差別を利用した不当要求行為)を排除する」27.8%、「啓発・広報活動を推進する」26.0%などとなっている。

図表 1-(13)-1 同和問題を解決するために必要と思われることについて

		回答数
全体	100.0	1,407 人
(1) 人権全般にわたっての意識を高める	48.7	685 人
(2) 家庭で子どもに差別をしないように教える	41.6	585 人
(3) えせ同和行為(差別を利用した不当要求行為)を排除する	28.6	403 人
(4) 啓発・広報活動を推進する	26.3	370 人
(5) どのようにしても差別はなくなる	20.7	291 人
(6) 相談活動を充実する	16.7	235 人
(7) そっとしておけば差別は自然になくなる	16.2	228 人
(8) 差別に関わることを見聞きしたときは、その場で注意する	14.4	203 人
(9) 人権が侵害された被害者の救済制度を充実する	14.1	198 人
(10) 相互の理解を深める交流会を開催する	12.9	182 人
(11) その他	4.4	62 人
(12) わからない	6.1	86 人
無回答	1.1	15 人

グラフ単位:(%)

(14)子どもの結婚相手が同和地区出身だった場合の対応について

付問6 あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたは
どうだと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

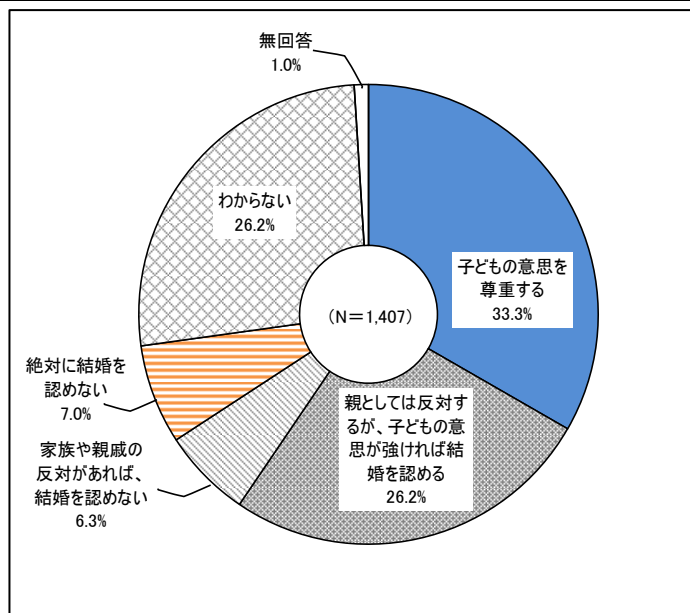
【回答者数=1,407】

1	子どもの意思を尊重する	33.3% (34.6%)
2	親としては反対するが、子どもの意思が強ければ結婚を認める	26.2% (25.2%)
3	家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない	6.3% (5.8%)
4	絶対に結婚を認めない	7.0% (6.8%)
5	わからない	26.2% (26.6%)
	(無回答)	1.0% (0.9%)

子どもの結婚相手が同和地区出身だった場合の対応について、「子どもの意思を尊重する」33.3%が最も高く、次いで「親としては反対するが、子どもの意思が強ければ結婚を認める」26.2%、「わからない」26.2%、「絶対に結婚を認めない」7.0%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「子どもの意思を尊重する」34.6%が最も高く、次いで「わからない」26.6%、「親としては反対するが、子どもの意思が強ければ結婚を認める」25.2%、「絶対に結婚を認めない」6.8%などとなっている。

図表 1-(14)-1 子どもの結婚相手が同和地区出身だった場合の対応について



(15)効果的であると思う人権啓発活動について

問8 あなたは、人権啓発を推進するためには、県民に対してどのような啓発広報活動が効果的であると思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1	テレビ・ラジオを活用した啓発	48.4% (49.3%)
2	県・市町の広報誌	36.7% (35.2%)
3	講演会や研修会、座談会	25.4% (24.8%)
4	高齢者・障害者などの擬似体験	22.9% (23.0%)
5	インターネット	22.7% (24.4%)
6	新聞・雑誌・週刊誌	22.5% (22.7%)
7	人権問題をテーマとした行事（じんけんフェスティバル、ポスターパネル展など）	19.3% (19.0%)
8	映画・ビデオを活用した啓発	17.0% (17.5%)
9	相互の理解を深めるための交流会	15.7% (15.3%)
10	パンフレット・ポスター	14.7% (14.9%)
11	その他	4.2% (4.0%)
	(無回答)	7.1% (6.9%)

効果的であると思う人権啓発活動について、「テレビ・ラジオを活用した啓発」48.4%が最も高く、次いで「県・市町の広報誌」36.7%、「講演会や研修会、座談会」25.4%、「高齢者・障害者などの擬似体験」22.9%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「テレビ・ラジオを活用した啓発」49.3%が最も高く、次いで「県・市町の広報誌」35.2%、「講演会や研修会、座談会」24.8%、「インターネット」24.4%などとなっている。

図表 1-(15)-1 効果的であると思う人権啓発活動について

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) テレビ・ラジオを活用した啓発	48.4	741 人
(2) 県・市町の広報誌	36.7	562 人
(3) 講演会や研修会、座談会	25.4	388 人
(4) 高齢者・障害者などの疑似体験	22.9	351 人
(5) インターネット	22.7	348 人
(6) 新聞・雑誌・週刊誌	22.5	344 人
(7) 人権問題をテーマとした行事(じんけんフェスティバル、ポスターパネル展など)	19.3	296 人
(8) 映画・ビデオを活用した啓発	17.0	260 人
(9) 相互の理解を深めるための交流会	15.7	240 人
(10) パンフレット・ポスター	14.7	225 人
(11) その他	4.2	64 人
無回答	7.1	108 人

グラフ単位：(%)

(16)人権啓発活動への印象や感想について

問9 あなたは、過去1年間で、人権に関わる啓発を見聞きしたり参加して、どのような印象や感想を持ちましたか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

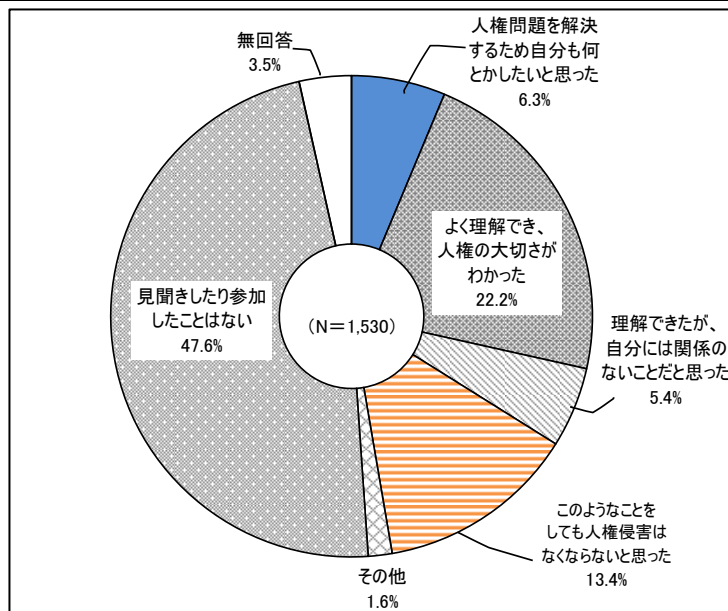
【回答者数=1,530】

1 人権問題を解決するため自分も何とかしたいと思った	6.3% (6.2%)
2 よく理解でき、人権の大切さがわかった	22.2% (22.4%)
3 理解できたが、自分には関係のないことだと思った	5.4% (5.4%)
4 このようなことをしても人権侵害はなくならないと思った	13.4% (13.2%)
5 その他	1.6% (1.7%)
6 見聞きしたり参加したことはない (無回答)	47.6% (47.7%) 3.5% (3.4%)

人権啓発活動への印象や感想について、「見聞きしたり参加したことはない」47.6%が最も高く、次いで「よく理解でき、人権の大切さがわかった」22.2%、「このようなことをしても人権侵害はなくならないと思った」13.4%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「見聞きしたり参加したことはない」47.7%が最も高く、次いで「よく理解でき、人権の大切さがわかった」22.4%、「このようなことをしても人権侵害はなくならないと思った」13.2%などとなっている。

図表 1-(16)-1 人権啓発活動への印象や感想について



2. 環境施策について

(1)－1 身のまわりの環境、行政の環境への取り組みの<現在の満足度>

問10 あなたの身のまわりの環境、行政の環境への取り組みの、<現在の満足度>について、それぞれ1～5のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】

(単位:%)

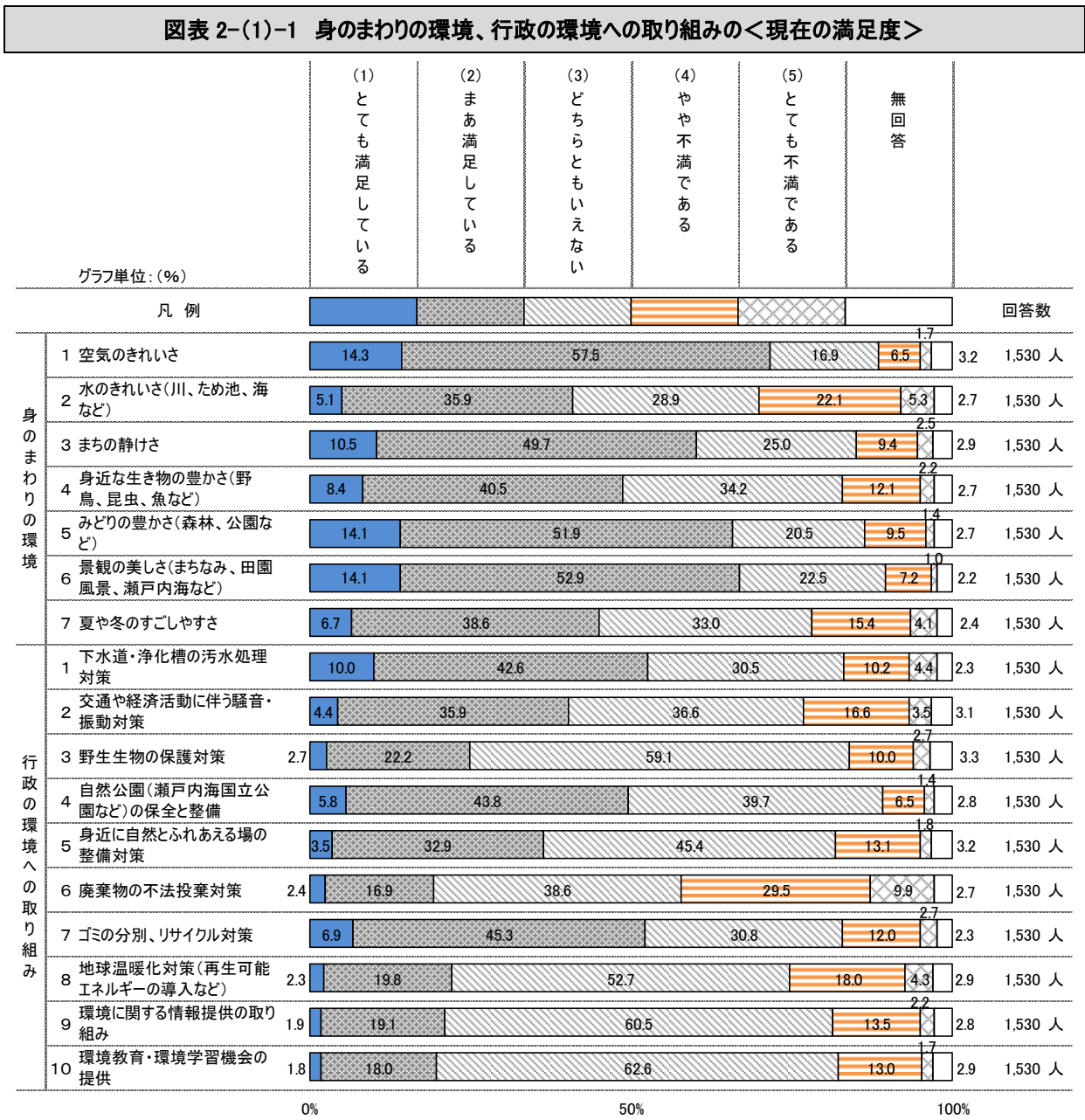
項 目		<現在の満足度>					
		①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
身のまわりの環境	1 空気のきれいさ	14.3 (14.2)	57.5 (56.6)	16.9 (17.5)	6.5 (6.4)	1.7 (2.0)	3.2 (3.2)
	2 水のきれいさ (川、ため池、海など)	5.1 (5.1)	35.9 (34.4)	28.9 (29.1)	22.1 (23.1)	5.3 (5.6)	2.7 (2.6)
	3 まちの静けさ	10.5 (10.8)	49.7 (48.5)	25.0 (25.9)	9.4 (9.5)	2.5 (2.4)	2.9 (2.9)
	4 身近な生き物の豊かさ (野鳥、昆虫、魚など)	8.4 (8.6)	40.5 (40.0)	34.2 (34.2)	12.1 (12.3)	2.2 (2.2)	2.7 (2.6)
	5 みどりの豊かさ (森林、公園など)	14.1 (14.2)	51.9 (51.2)	20.5 (20.6)	9.5 (9.9)	1.4 (1.4)	2.7 (2.7)
	6 景観の美しさ (まちなみ、田園風景、瀬戸内海など)	14.1 (14.2)	52.9 (52.5)	22.5 (23.0)	7.2 (7.2)	1.0 (1.0)	2.2 (2.1)
	7 夏や冬の過ごしやすさ	6.7 (6.7)	38.6 (38.5)	33.0 (32.8)	15.4 (15.4)	4.1 (4.3)	2.4 (2.3)
行政の環境への取り組み	1 下水道・浄化槽の汚水処理対策	10.0 (10.3)	42.6 (42.2)	30.5 (31.1)	10.2 (9.9)	4.4 (4.3)	2.3 (2.3)
	2 交通や経済活動に伴う騒音・振動対策	4.4 (4.7)	35.9 (36.0)	36.6 (36.4)	16.6 (16.5)	3.5 (3.3)	3.1 (3.1)
	3 野生生物の保護対策	2.7 (2.9)	22.2 (21.7)	59.1 (59.5)	10.0 (10.0)	2.7 (2.6)	3.3 (3.2)
	4 自然公園 (瀬戸内海国立公園など)の保全と整備	5.8 (5.8)	43.8 (43.2)	39.7 (40.7)	6.5 (6.4)	1.4 (1.2)	2.8 (2.7)
	5 身近に自然とふれあえる場の整備対策	3.5 (3.8)	32.9 (33.1)	45.4 (45.1)	13.1 (13.0)	1.8 (1.8)	3.2 (3.2)
	6 廃棄物の不法投棄対策	2.4 (2.5)	16.9 (16.9)	38.6 (39.0)	29.5 (29.3)	9.9 (9.8)	2.7 (2.6)
	7 ゴミの分別、リサイクル対策	6.9 (7.3)	45.3 (44.4)	30.8 (31.1)	12.0 (12.1)	2.7 (2.9)	2.3 (2.2)
	8 地球温暖化対策 (再生可能エネルギーの導入など)	2.3 (2.6)	19.8 (19.8)	52.7 (52.5)	18.0 (17.9)	4.3 (4.3)	2.9 (2.9)
	9 環境に関する情報提供の取り組み	1.9 (2.0)	19.1 (19.0)	60.5 (60.5)	13.5 (13.5)	2.2 (2.2)	2.8 (2.8)
	10 環境教育・環境学習機会の提供	1.8 (1.9)	18.0 (18.2)	62.6 (62.3)	13.0 (12.9)	1.7 (1.7)	2.9 (2.9)

身のまわりの環境への取り組みの<現在の満足度>について、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合は、「空気のきれいさ」71.8%が最も高く、次いで「景観の美しさ」67.0%、「みどりの豊かさ」66.0%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【満足している】の割合は、「空気のきれいさ」70.8%が最も高く、次いで「景観の美しさ」66.7%、「みどりの豊かさ」65.4%などとなっている。

行政の環境への取り組みの<現在の満足度>について、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合は、「下水道・浄化槽の汚水処理対策」52.6%が最も高く、次いで「ゴミの分別、リサイクル対策」52.2%、「自然公園の保全と整備」49.6%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【満足している】の割合は、「下水道・浄化槽の汚水処理対策」52.5%が最も高く、次いで「ゴミの分別、リサイクル対策」51.7%、「自然公園の保全と整備」49.0%などとなっている。



(1)－2 身のまわりの環境、行政の環境への取り組みの＜将来の重要度＞

問10 あなたの身のまわりの環境、行政の環境への取り組みの、＜将来の重要度＞について、それぞれ1～5のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】

(単位:%)

項 目		＜将来の重要度＞					
		①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	無回答
身のまわりの環境	1 空気のきれいさ	64.1 (63.7)	20.6 (20.7)	3.1 (3.4)	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	12.0 (11.9)
	2 水のきれいさ (川、ため池、海など)	62.8 (62.8)	22.5 (22.4)	2.5 (2.8)	0.5 (0.5)	0.1 (0.1)	11.6 (11.5)
	3 まちの静けさ	27.8 (27.3)	45.4 (44.3)	13.4 (14.4)	1.6 (2.1)	0.1 (0.1)	11.8 (11.7)
	4 身近な生き物の豊かさ (野鳥、昆虫、魚など)	35.0 (35.2)	38.5 (37.7)	13.1 (13.5)	0.8 (1.0)	0.7 (0.8)	11.9 (11.8)
	5 みどりの豊かさ (森林、公園など)	44.8 (45.2)	36.5 (35.6)	6.2 (6.6)	0.7 (0.8)	0.1 (0.1)	11.8 (11.8)
	6 景観の美しさ (まちなみ、田園風景、瀬戸内海など)	42.7 (43.3)	36.9 (35.5)	8.5 (9.3)	0.7 (0.8)	0.1 (0.1)	11.1 (11.0)
	7 夏や冬の過ごしやすさ	33.9 (34.7)	38.9 (37.8)	14.7 (15.0)	1.2 (1.3)	0.1 (0.1)	11.2 (11.1)
行政の環境への取り組み	1 下水道・浄化槽の汚水処理対策	48.9 (49.0)	31.6 (30.9)	7.5 (8.0)	0.5 (0.5)	0.1 (0.1)	11.5 (11.6)
	2 交通や経済活動に伴う騒音・振動対策	31.6 (31.4)	41.6 (40.7)	13.5 (14.4)	1.0 (1.2)	0.2 (0.2)	12.1 (12.1)
	3 野生生物の保護対策	24.3 (24.9)	36.0 (35.3)	24.7 (24.7)	2.1 (2.1)	0.7 (0.8)	12.2 (12.1)
	4 自然公園 (瀬戸内海国立公園など)の保全と整備	31.2 (30.9)	39.5 (39.1)	15.9 (16.3)	1.3 (1.4)	0.3 (0.3)	11.9 (11.9)
	5 身近に自然とふれあえる場の整備対策	25.7 (26.4)	41.7 (40.9)	18.2 (18.1)	1.2 (1.3)	0.5 (0.5)	12.8 (12.8)
	6 廃棄物の不法投棄対策	51.3 (51.2)	29.5 (29.2)	6.8 (7.3)	0.3 (0.3)	0.2 (0.2)	11.8 (11.8)
	7 ゴみの分別、リサイクル対策	47.6 (47.9)	32.6 (31.6)	7.1 (7.5)	0.8 (0.9)	0.2 (0.3)	11.7 (11.7)
	8 地球温暖化対策 (再生可能エネルギーの導入など)	48.7 (48.7)	25.9 (25.4)	12.2 (12.5)	0.8 (0.9)	0.4 (0.4)	12.0 (12.0)
	9 環境に関する情報提供の取り組み	28.6 (28.5)	36.5 (36.1)	21.3 (21.7)	1.3 (1.4)	0.3 (0.4)	11.9 (12.0)
	10 環境教育・環境学習機会の提供	27.2 (27.3)	37.3 (37.0)	21.6 (21.7)	1.6 (1.6)	0.4 (0.5)	12.0 (12.0)

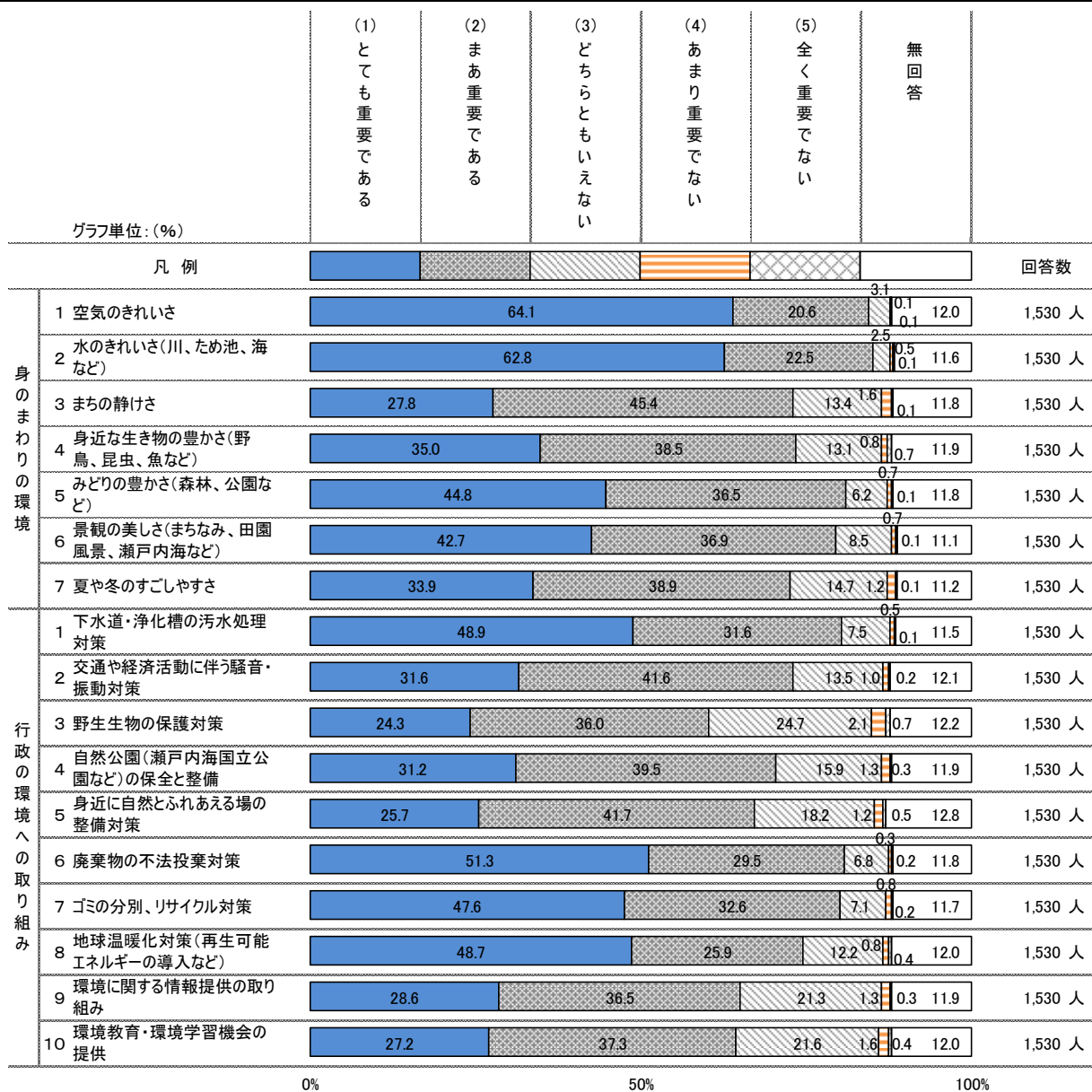
身のまわりの環境への取り組みの<将来の重要度>について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、「水のきれいさ」85.3%が最も高く、次いで「空気のきれいさ」84.7%、「みどりの豊かさ」81.3%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、「水のきれいさ」85.2%が最も高く、次いで「空気のきれいさ」84.4%、「みどりの豊かさ」80.8%などとなっている。

行政の環境への取り組みの<将来の重要度>について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、「廃棄物の不法投棄対策」80.8%が最も高く、次いで「下水道・浄化槽の汚水処理対策」80.5%、「ゴミの分別、リサイクル対策」80.2%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、「廃棄物の不法投棄対策」80.4%が最も高く、次いで「下水道・浄化槽の汚水処理対策」79.9%、「ゴミの分別、リサイクル対策」79.5%などとなっている。

図表 2-(1)-2 身のまわりの環境、行政の環境への取り組みの<将来の重要度>



(2)環境に優しい行動への取り組み

問11 あなたは日常生活の中で、どの程度、環境に優しい行動をしていますか。それぞれ1～4のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】

(単位:%)

項 目		＜取り組み状況＞				
		① いつも している	② ときどき している	③ あまり して いない	④ 全く して いない	無 回 答
水質汚濁の防止	1 食器の汚れを拭き取ってから洗ったり、料理の残り油を排水口に流さないようにしている	43.6 (42.2)	33.0 (34.0)	17.8 (17.8)	4.4 (4.8)	1.2 (1.2)
	2 洗剤の使用量は適量としている	63.0 (61.5)	23.3 (24.3)	10.9 (11.3)	1.5 (1.7)	1.2 (1.2)
資源の有効利用・廃棄物の適正処理	1 買い物するときはマイバッグを持参したり、詰替商品や簡易包装の商品を購入するなど、ゴミを減らしている	28.0 (27.2)	37.3 (37.2)	23.7 (23.8)	10.1 (10.9)	0.9 (0.9)
	2 食べ物を大事にして、食べ残しなど、本来食べられるものは捨てない	53.5 (53.3)	34.5 (35.0)	9.4 (9.2)	1.3 (1.3)	1.3 (1.3)
	3 リサイクルショップやフリーマーケットを活用するなど、再利用に努めている	11.9 (12.4)	29.0 (28.8)	36.5 (35.8)	21.1 (21.5)	1.4 (1.4)
	4 市町のルールに沿って正しくゴミを分別し、リサイクル回収に協力している	85.4 (83.6)	11.0 (12.4)	1.9 (2.4)	0.7 (0.8)	1.0 (0.9)
	5 ゴミのポイ捨て(不法投棄)をしたり、家で燃やしたり(野外焼却や簡易な焼却炉での焼却)しない	63.7 (63.9)	15.6 (15.5)	7.1 (7.3)	11.8 (11.5)	1.8 (1.8)
地球温暖化の防止	1 電気をこまめに消したり、冷暖房の温度設定に注意するなど節電に努めている	59.5 (58.5)	30.1 (30.6)	7.6 (8.0)	1.5 (1.7)	1.3 (1.3)
	2 (家族の運転を含め)運転の際には、不必要なアイドリングや急発進を控えるなどエコドライブに努めている	64.2 (63.2)	23.9 (24.4)	7.3 (7.7)	2.1 (2.2)	2.5 (2.6)
	3 外出の際は、マイカーよりも徒歩、自転車、公共交通機関を利用している	12.3 (13.2)	24.1 (23.6)	38.0 (36.7)	24.1 (24.9)	1.6 (1.6)
環境保全活動	1 地域や学校での環境美化や緑化運動に参加している	12.4 (12.1)	25.2 (24.7)	30.6 (30.4)	30.3 (31.3)	1.4 (1.4)
	2 環境に関する講座への参加や正しい知識を得よう努めている	6.4 (6.7)	22.4 (21.7)	41.2 (40.8)	28.6 (29.4)	1.4 (1.4)
	3 身近な環境問題について職場や家庭で話し合ったり、省エネや節電など環境によいことを知人に勧めたりしている	5.2 (5.1)	26.9 (26.3)	41.6 (41.5)	25.2 (25.9)	1.2 (1.2)

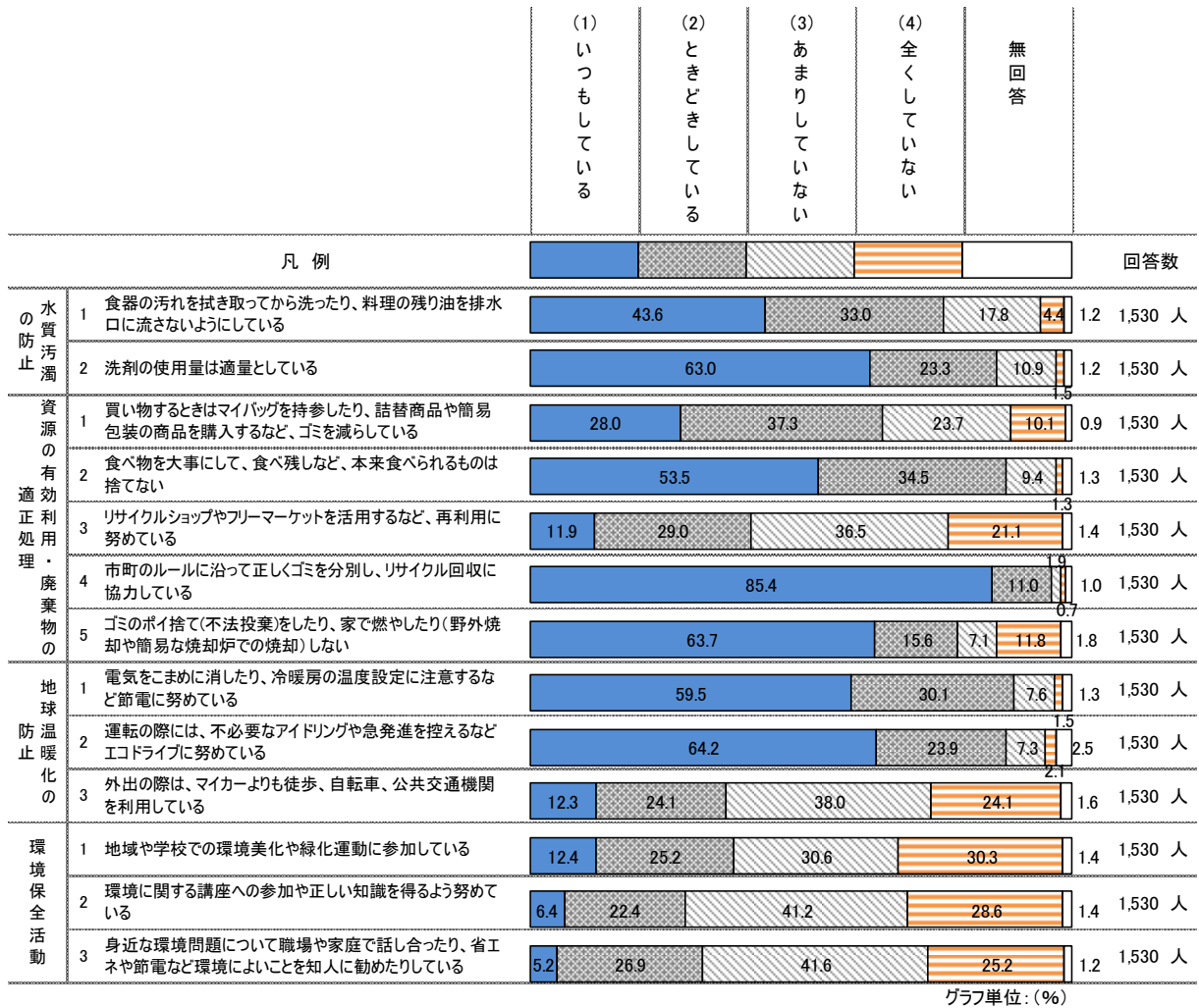
環境に優しい行動への取り組みについて、「いつもしている」と「ときどきしている」を合わせた【している】の割合は、「市町のルールに沿って正しくゴミを分別し、リサイクル回収に協力している」96.4%が最も高く、次いで「電気をこまめに消したり、冷暖房の温度設定に注意するなど節電に努めている」89.6%、「(家族の運転を含め)運転の際には、不必要なアイドリングや急発進を控えるなどエコドライブに努めている」88.1%、「食べ物を大事にして、食べ残しなど、本来食べられるものは捨てない」88.0%、「洗剤の使用量は適量としている」86.3%などとなっている。

また、「あまりしていない」と「全くしていない」を合わせた【していない】の割合は、「環境に関する講座への参加や正しい知識を得るよう努めている」69.8%が最も高く、次いで「身近な環境問題について職場や家庭で話し合ったり、省エネや節電など環境によいことを知人に勧めたりしている」66.8%、「外出の際は、マイカーよりも徒歩、自転車、公共交通機関を利用している」62.1%、「地域や学校での環境美化や緑化活動に参加している」60.9%、「リサイクルショップやフリーマーケットを活用するなど、再利用に努めている」57.6%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【している】の割合は、「市町のルールに沿って正しくゴミを分別し、リサイクル回収に協力している」96.0%が最も高く、次いで「電気をこまめに消したり、冷暖房の温度設定に注意するなど節電に努めている」89.1%、「食べ物を大事にして、食べ残しなど、本来食べられるものは捨てない」88.3%、「(家族の運転を含め)運転の際には、不必要なアイドリングや急発進を控えるなどエコドライブに努めている」87.6%、「洗剤の使用量は適量としている」85.8%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【していない】の割合は、「環境に関する講座への参加や正しい知識を得るよう努めている」70.2%が最も高く、次いで「身近な環境問題について職場や家庭で話し合ったり、省エネや節電など環境によいことを知人に勧めたりしている」67.4%、「地域や学校での環境美化や緑化活動に参加している」61.7%、「外出の際は、マイカーよりも徒歩、自転車、公共交通機関を利用している」61.6%、「リサイクルショップやフリーマーケットを活用するなど、再利用に努めている」57.3%などとなっている。

図表 2-(2)-1 【環境に優しい行動への取り組み】



(3)地球温暖化防止のための取り組みについて

問12 地球温暖化防止のための取り組みについて、実施に賛成し、効果が高いと思われるものを3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1 再生可能エネルギー設備の導入促進	58.8% (59.5%)
2 省エネ・節電行動の一層の促進	51.2% (50.8%)
3 電気自動車や省エネルギー設備などの導入促進	50.2% (50.6%)
4 CO2(二酸化炭素)吸収源対策としての植栽や間伐など森林整備の推進	49.5% (49.7%)
5 地球温暖化に関するわかりやすい情報の提供	37.2% (36.5%)
6 地球温暖化防止に関する環境学習の充実	21.6% (21.6%)
7 その他	1.1% (1.1%)
(無回答)	1.7% (1.7%)

地球温暖化防止のための取り組みについて、「再生可能エネルギー設備の導入促進」58.8%が最も高く、次いで「省エネ・節電行動の一層の促進」51.2%、「電気自動車や省エネルギー設備などの導入促進」50.2%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「再生可能エネルギー設備の導入促進」59.5%が最も高く、次いで「省エネ・節電行動の一層の促進」50.8%、「電気自動車や省エネルギー設備などの導入促進」50.6%などとなっている。

図表 2-(3)-1 地球温暖化防止のための取り組みについて

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 再生可能エネルギー設備の導入促進	58.8	900 人
(2) 省エネ・節電行動の一層の促進	51.2	783 人
(3) 電気自動車や省エネルギー設備などの導入促進	50.2	768 人
(4) CO2(二酸化炭素)吸収源対策としての植栽や間伐など森林整備の推進	49.5	757 人
(5) 地球温暖化に関するわかりやすい情報の提供	37.2	569 人
(6) 地球温暖化防止に関する環境学習の充実	21.6	330 人
(7) その他	1.1	17 人
無回答	1.7	26 人

グラフ単位:(%)

(4) 森林整備と都市緑化のための取り組みについて

問13 森林整備と都市緑化のための取り組みについて、実施に賛成し、効果が高いと思われるものを3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】 ※回答数の多い順に並び替え

1	間伐など森林を守り育てる森林整備の推進	62.7% (62.6%)
2	手入れが行き届いていない竹林や広葉樹林などの里山の整備と資源活用の推進	60.8% (59.5%)
3	森林整備の担い手の育成・確保	40.6% (40.7%)
4	都市公園や森林公園などの適切な整備・管理	27.6% (27.6%)
5	公共施設などにおける県産木材の利用促進	19.1% (19.3%)
6	保安林（水源かん養機能などが指定されている森林）などの適切な管理・保全	18.2% (18.3%)
7	ボランティア・企業などの参加による県民総参加の森づくりの推進	16.5% (16.7%)
8	建物の屋上や壁面に植物を植えるなど緑化の推進	14.4% (15.5%)
9	県産木材で作った製品などの積極的なPRと情報の提供	11.6% (11.7%)
10	その他	0.4% (0.4%)
	(無回答)	2.5% (2.6%)

森林整備と都市緑化のための取り組みについて、「間伐など森林を守り育てる森林整備の推進」62.7%が最も高く、次いで「手入れが行き届いていない竹林や広葉樹林などの里山の整備と資源活用の推進」60.8%、「森林整備の担い手の育成・確保」40.6%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「間伐など森林を守り育てる森林整備の推進」62.6%が最も高く、次いで「手入れが行き届いていない竹林や広葉樹林などの里山の整備と資源活用の推進」59.5%、「森林整備の担い手の育成・確保」40.7%などとなっている。

図表 2-(4)-1 森林整備と都市緑化のための取り組みについて

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 間伐など森林を守り育てる森林整備の推進	62.7	960 人
(2) 手入れが行き届いていない竹林や広葉樹林などの里山の整備と資源活用の推進	60.8	931 人
(3) 森林整備の担い手の育成・確保	40.6	621 人
(4) 都市公園や森林公園などの適切な整備・管理	27.6	423 人
(5) 公共施設などにおける県産木材の利用促進	19.1	292 人
(6) 保安林(水源かん養機能などが指定されている森林)などの適切な管理・保全	18.2	278 人
(7) ボランティア・企業などの参加による県民総参加の森づくりの推進	16.5	252 人
(8) 建物の屋上や壁面に植物を植えるなど緑化の推進	14.4	220 人
(9) 県産木材で作った製品などの積極的なPRと情報の提供	11.6	178 人
(10) その他	0.4	6 人
無回答	2.5	39 人

グラフ単位:(%)

(5)ごみの軽量化・リサイクルの推進のための取り組みについて

問14 ごみの減量化・リサイクルの推進のための取り組みについて、実施に賛成し、効果が高いと思われるものを3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1	ごみの多くを占める食品廃棄物の削減などに重点化した取り組み	60.3% (60.0%)
2	スーパーでの買い物袋持参の協力呼びかけや包装の簡素化	40.7% (41.2%)
3	学校や地域における環境学習の充実	36.0% (36.5%)
4	不法投棄の監視・通報体制の充実	32.5% (32.2%)
5	市町でのごみの分別方法や処理方法の見直し（可燃ごみから資源ごみへの変更など）	32.1% (31.2%)
6	広報の充実など県民全体への意識啓発や情報提供の強化	27.9% (27.4%)
7	デポジット制度の導入など生産者による積極的資源回収の仕組みづくり	21.3% (22.1%)
8	地域による環境美化（クリーン作戦など）	18.3% (18.5%)
9	その他	1.3% (1.3%)
	(無回答)	1.9% (1.9%)

ごみの軽量化・リサイクルの推進のための取り組みについて、「ごみの多くを占める食品廃棄物の削減などに重点化した取り組み」60.3%が最も高く、次いで「スーパーでの買い物袋持参の協力呼びかけや包装の簡素化」40.7%、「学校や地域における環境学習の充実」36.0%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ごみの多くを占める食品廃棄物の削減などに重点化した取り組み」60.0%が最も高く、次いで「スーパーでの買い物袋持参の協力呼びかけや包装の簡素化」41.2%、「学校や地域における環境学習の充実」36.5%などとなっている。

図表 2-(5)-1 ごみの軽量化・リサイクルの推進のための取り組みについて

		回答数
全 体	100.0	1,530 人
(1) ごみの多くを占める食品廃棄物の削減などに重点化した取り組み	60.3	923 人
(2) スーパーでの買い物袋持参の協力呼びかけや包装の簡素化	40.7	622 人
(3) 学校や地域における環境学習の充実	36.0	551 人
(4) 不法投棄の監視・通報体制の充実	32.5	497 人
(5) 市町でのごみの分別方法や処理方法の見直し(可燃ごみから資源ごみへの変更など)	32.1	491 人
(6) 広報の充実など県民全体への意識啓発や情報提供の強化	27.9	427 人
(7) デポジット制度の導入など生産者による積極的資源回収の仕組みづくり	21.3	326 人
(8) 地域による環境美化(クリーン作戦など)	18.3	280 人
(9) その他	1.3	20 人
無回答	1.9	29 人

グラフ単位: (%)

(6)生物多様性の保全の取り組みについて

問15 生物多様性の保全の取り組みについて、実施に賛成し、効果が高いと思われるものを3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1	身近な自然（里地・里山・里海）の保全	69.4% (68.6%)
2	農業被害を発生させるイノシシなどの野生鳥獣の適切な管理	67.3% (66.7%)
3	絶滅のおそれのある野生動植物の保護	46.7% (48.5%)
4	アライグマやヌートリアなど生態系や人間生活に影響を与える外来生物の防除	44.8% (44.5%)
5	自然観察会など生物多様性について理解を深めるための普及啓発活動	17.5% (17.1%)
6	生物多様性に関する活動を行っている団体などへの支援	16.5% (16.6%)
7	その他	0.5% (0.5%)
	(無回答)	2.4% (2.4%)

生物多様性の保全の取り組みについて、「身近な自然（里地・里山・里海）の保全」69.4%が最も高く、次いで「農業被害を発生させるイノシシなどの野生鳥獣の適切な管理」67.3%、「絶滅のおそれのある野生動植物の保護」46.7%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「身近な自然（里地・里山・里海）の保全」68.6%が最も高く、次いで「農業被害を発生させるイノシシなどの野生鳥獣の適切な管理」66.7%、「絶滅のおそれのある野生動植物の保護」48.5%などとなっている。

図表 2-(6)-1 生物多様性の保全の取り組みについて

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 身近な自然(里地・里山・里海)の保全	69.4	1,062 人
(2) 農業被害を発生させるイノシシなどの野生鳥獣の適切な管理	67.3	1,029 人
(3) 絶滅のおそれのある野生動植物の保護	46.7	715 人
(4) アライグマやヌートリアなど生態系や人間生活に影響を与える外来生物の防除	44.8	686 人
(5) 自然観察会など生物多様性について理解を深めるための普及啓発活動	17.5	268 人
(6) 生物多様性に関する活動を行っている団体などへの支援	16.5	252 人
(7) その他	0.5	8 人
無回答	2.4	36 人

グラフ単位:(%)

(7)瀬戸内海の環境の保全に関する取り組みについて

問16 瀬戸内海の環境の保全に関する取り組みについて、実施に賛成し、効果が高いと思われるものを3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1 水質の保全・管理（産業排水の規制、下水道の整備、有害化学物質の対策など）	66.8% (67.0%)
2 沿岸域の環境（藻場・干潟・自然海浜など）の保全・再生・創出	48.8% (48.7%)
3 自然景観・文化的景観の保全（自然公園、緑地、史跡の保全、海ごみ対策など）	48.4% (48.3%)
4 瀬戸内海に面した府県などとの連携の強化	31.2% (30.9%)
5 持続可能な水産資源の維持・管理の推進	25.3% (25.6%)
6 水質などの監視測定や調査研究	22.9% (23.2%)
7 健全な物質（栄養塩など）の循環機能の維持・回復	11.0% (11.2%)
8 環境学習の推進	8.5% (8.3%)
9 情報提供、広報の充実	5.5% (5.3%)
10 その他	0.6% (0.5%)
（無回答）	2.7% (2.8%)

瀬戸内海の環境の保全に関する取り組みについて、「水質の保全・管理（産業排水の規制、下水道の整備、有害化学物質の対策など）」66.8%が最も高く、次いで「沿岸域の環境（藻場・干潟・自然海浜など）の保全・再生・創出」48.8%、「自然景観・文化的景観の保全（自然公園、緑地、史跡の保全、海ごみ対策など）」48.4%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「水質の保全・管理（産業排水の規制、下水道の整備、有害化学物質の対策など）」67.0%が最も高く、次いで「沿岸域の環境（藻場・干潟・自然海浜など）の保全・再生・創出」48.7%、「自然景観・文化的景観の保全（自然公園、緑地、史跡の保全、海ごみ対策など）」48.3%などとなっている。

図表 2-(7)-1 瀬戸内海の環境の保全に関する取り組みについて

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 水質の保全・管理(産業排水の規制、下水道の整備、有害化学物質の対策など)	66.8	1,022 人
(2) 沿岸域の環境(藻場・干潟・自然海浜など)の保全・再生・創出	48.8	746 人
(3) 自然景観・文化的景観の保全(自然公園、緑地、史跡の保全、海ごみ対策など)	48.4	740 人
(4) 瀬戸内海に面した府県などとの連携の強化	31.2	478 人
(5) 持続可能な水産資源の維持・管理の推進	25.3	387 人
(6) 水質などの監視測定や調査研究	22.9	351 人
(7) 健全な物質(栄養塩など)の循環機能の維持・回復	11.0	169 人
(8) 環境学習の推進	8.5	130 人
(9) 情報提供、広報の充実	5.5	84 人
(10) その他	0.6	9 人
無回答	2.7	42 人

グラフ単位:(%)

(8)環境施策に関する要望について

問17 環境施策に関する要望がありましたら、自由にご記入ください。

139件中意見を抜粋

「1. 地球温暖化防止のための取り組みについて」

- ・再生可能エネルギーを用いて環境保全ができるようになればよい。
- ・太陽光発電システムの設置推進補助。固定価格買取期間を延長すること等による再生エネルギーの利用促進。原発廃止の促進。
- ・太陽光パネルに含まれる有害物質の規制強化、買取期間終了後の廃棄物処理問題について早期の対策を。
- ・地球温暖化などによる異常気象が起こっているが、地球規模の世界的な対策がいまひとつ見えてこない。技術水準の高い国が連携して、可能な限りの将来予想を情報提供し、対応する技術開発をしてほしい。県の対応としては、環境科学の教育への支援（大学など）の推進など、人材育成をお願いしたい。

「2. 森林整備と都市緑化のための取り組みについて」

- ・公園のようなものは作らなくて良い。今ある自然・山・森林の管理をしていくと、山→川→海とつながってよくなる気がする。
- ・海や水質保全にとって最も重要なのが、山林の保全・管理。間伐材を再利用し、エネルギーを創出し、化石燃料の消費を抑える、ここに尽きると考える。これからの森林環境税の導入に合わせ、ぜひ間伐材の有効利用法について考えてもらいたい。
- ・緑化対策の一環として公園の整備などを望むとともに、水場の整備により水と触れ合える環境対策を実施する必要がある。
- ・街中に、お年寄りや子供たちが日常的に自然に触れることのできる緑や水のあるエリアを設けてほしい。管理が大変だと思うが、できれば誰もいない公園のようなものではなく、常に手入れをしている安全な場となってほしい。
- ・森林を維持していくための補助金が必要なのでは。山が荒れている。

「3. ごみの減量化・リサイクルの推進のための取り組みについて」

- ・不法投棄や野外焼却を厳重に監視、取締まりしてほしい。不法投棄の罰則を厳しくしてほしい。
- ・池周辺、高速道路下、公園など、全体的にゴミのポイ捨てが多すぎる。整備施策の上で、まずは捨てないという意識付けをする教育が、老若男女に必要であり、この活動を推進すべきである。
- ・車からのゴミのポイ捨て、自転車からのポイ捨て、池の周りで犬の糞の不始末が目につく。啓発していく環境への整備が必要である。
- ・家の近くの田で野焼きをされて迷惑。家庭ゴミも一緒に燃やしていることもよくある。管理してもらいたい。煙や臭気に悩まされている。
- ・簡易包装の推進を、スーパー、小売店、コンビニなどが統一して行う。
- ・少しでもゴミが減るよう香川県独自の条例があっても良いように思う(例:アイスコーヒーの容器も紙製のものにするなど)。香川県の豊かな自然を守ってほしい。

- ・食品の消費期限や、高齢化を鑑みて、パック詰め商品は少量のものを多くしたらよい。
- ・指定ゴミ袋に可燃、不燃の分別をせず、スーパーなどの袋に入れて出す非常識な人がいる。
- ・環境保全やゴミのリサイクルに対する意識が低い。行政で意識を高める努力をすべき。
- ・居住地の直近に残土が捨てられている。砂埃が住居に積もり、健康にも被害が出ている。早急な対策を願う。
- ・レジ袋はすべて有料にし、環境施策にお金を使ってほしい。
- ・公園の清掃、道路の除草など、県や市町で期日、時間を決めて公報で知らせ、関心のある人たちがボランティアで参加できるようにしてはどうか。近年、幹線道路のコンクリートの隙間に雑草が高く大きく成長しているのをよく見かける。安全面に配慮する必要があるが、地域民、関心のある人の協力を得てはどうか。

「4. 生物多様性の保全の取り組みについて」

- ・外来の雑木や古木にからまったツタがはびこり、景観がどんどん悪くなっている箇所が増えている。
- ・田畑が放置されて草に覆われている所が多く、イノシシなどの野生動物の遊び場になっているので草刈りができたら良いと思う。

「5 瀬戸内海の環境の保全に関する取り組みについて」

- ・大きな木など、海岸への漂着ゴミが多くなって、きれいな砂浜がひどく汚れているので、早めに除去する対応を望む。
- ・海ゴミ対策を特別に強化すること。海面に浮いているゴミはもちろん、海底のゴミを回収できるようなものを作る。山や川にゴミを捨てないようにし、そのゴミが海まで流れないように工夫をする。
- ・海のプラスチックごみ、どうにかしてほしい。マイクロ化して人体に悪影響を及ぼす。
- ・海、川、山などの自然を守っていくことはとても大切だと思う。保全活動を実施する中で、各地域の自治体や団体の協力は不可欠かと思うが、高齢化・後継者不足が活動の前進を遅らせているのではないか。

「6. 環境学習・環境学習機会の提供について」

- ・学校の授業などで教育することにより、「知らなかった」、「聞いたことがなかった」という人を減らすことが大切だと思う。あまり問題について興味を示さない人の意識と行動を変えることが重要になってくると思う。
- ・何でも小さい時から刷り込まれていないとできないし、興味もない。学校などで授業を行ってもらえたらよい。自分の故郷を美しく次世代に渡そうという気持ちを義務教育中に育むことが必要。
- ・自分も環境の一部であり、生活を少し意識することによって環境に良い影響を与えるのだということを、身近な事として考える機会を多くの人が持てるような工夫があると良いのではないかと思う。また、生産者の責任も行政からしっかりアピールしてほしい。
- ・食品廃棄の問題や地球温暖化、マイクロプラスチックなどテレビで取り上げられ、その真実に驚かされている。環境破壊の恐ろしさをもっと伝える努力と勉強が必要かと思う。

3. 食習慣・生活習慣について

(1) 健康や食生活をよりよくすることをふだんから意識している人の状況について

問18 あなたの健康や食生活についてよりよくすることをふだんから意識していますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

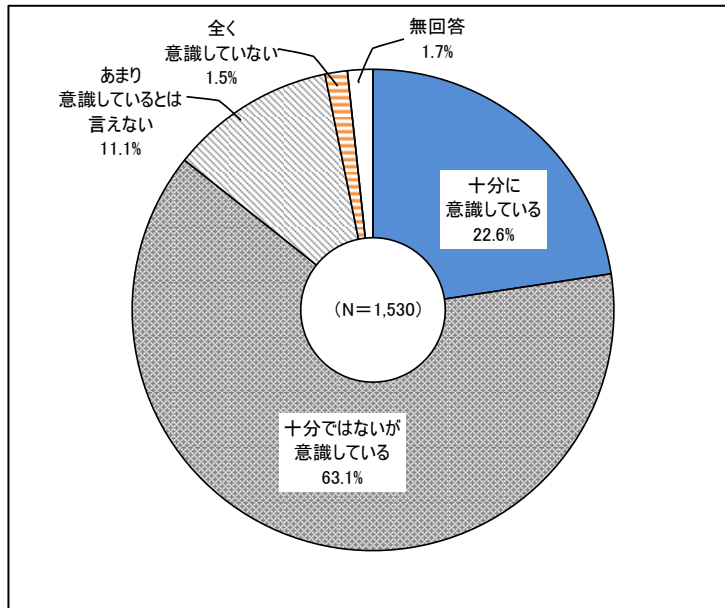
【回答者数=1,530】

1 十分に意識している	22.6% (22.7%)
2 十分ではないが意識している	63.1% (62.3%)
3 あまり意識しているとは言えない	11.1% (11.8%)
4 全く意識していない	1.5% (1.6%)
(無回答)	1.7% (1.7%)

健康や食生活をよりよくすることをふだんから意識している人の状況について、「十分ではないが意識している」63.1%が最も高く、次いで「十分に意識している」22.6%、「あまり意識しているとは言えない」11.1%、「全く意識していない」1.5%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「十分ではないが意識している」62.3%が最も高く、次いで「十分に意識している」22.7%、「あまり意識しているとは言えない」11.8%、「全く意識していない」1.6%となっている。

図表 3-(1)-1 健康や食生活をよりよくすることをふだんから意識している人の状況について



(2) 1日に1回以上、家族と一緒に食事をする頻度について

問19 1日に1回以上、家族と一緒に食事をすることがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】

1	ほとんど毎日	71.8% (71.2%)
2	2日に1回	5.3% (5.4%)
3	週に1～2回	5.9% (6.1%)
4	ほとんどない	5.0% (4.8%)
5	1人暮らし	10.5% (11.1%)
	(無回答)	1.6% (1.5%)

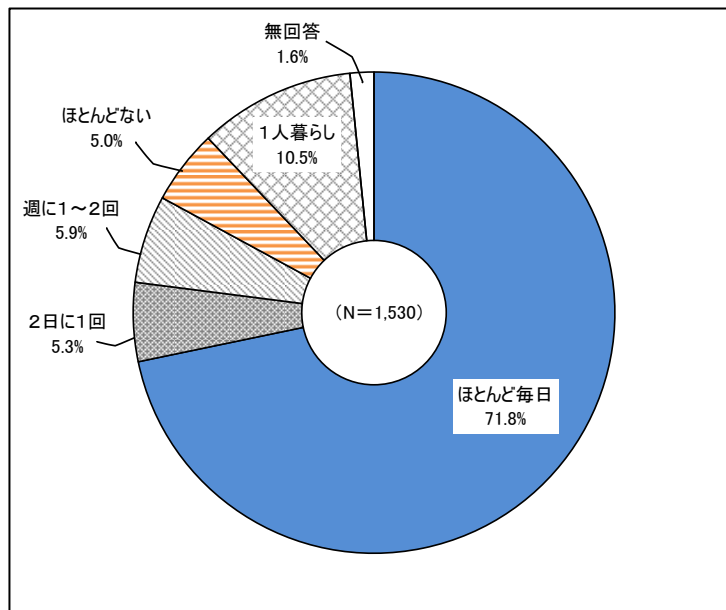
1日に1回以上、家族と一緒に食事をする頻度について、「ほとんど毎日」71.8%が最も高く、次いで「週に1～2回」5.9%などとなっている。

「1人暮らし」と答えた人は、10.5%である。

ウェイトバック集計した値をみると、「ほとんど毎日」71.2%が最も高く、次いで「週に1～2回」6.1%などとなっている。

「1人暮らし」と答えた人は、11.1%である。

図表 3-(2)-1 1日に1回以上、家族と一緒に食事をする頻度について



(3) 1日に1回以上、誰かと一緒に食事をする頻度について

問20 1日に1回以上、誰か（友人・知人など家族以外も含む）と一緒に食事をすることがありますか。
次の中から1つだけ選んでください。

※（）内の割合はウェイトバックした値

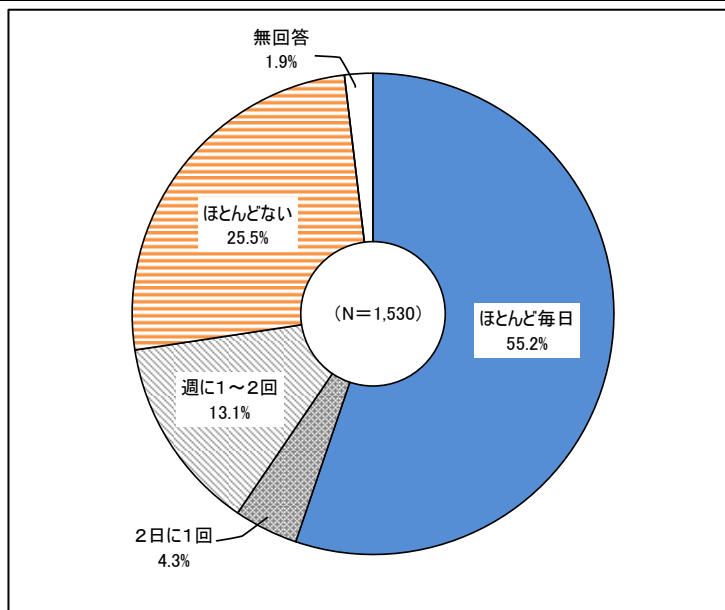
【回答者数=1,530】

1	ほとんど毎日	55.2% (56.1%)
2	2日に1回	4.3% (4.3%)
3	週に1～2回	13.1% (13.1%)
4	ほとんどない	25.5% (24.7%)
	(無回答)	1.9% (1.8%)

1日に1回以上、誰かと一緒に食事をする頻度について、「ほとんど毎日」55.2%が最も高く、次いで「ほとんどない」25.5%、「週に1～2回」13.1%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ほとんど毎日」56.1%が最も高く、次いで「ほとんどない」24.7%、「週に1～2回」13.1%などとなっている。

図表 3-(3)-1 1日に1回以上、誰かと一緒に食事をする頻度について



(4) 食事で主食・主菜・副菜の3種類をそろえて食べるようにしている人の状況について

問21 食事で主食・主菜・副菜の3種類をそろえて食べるようにしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

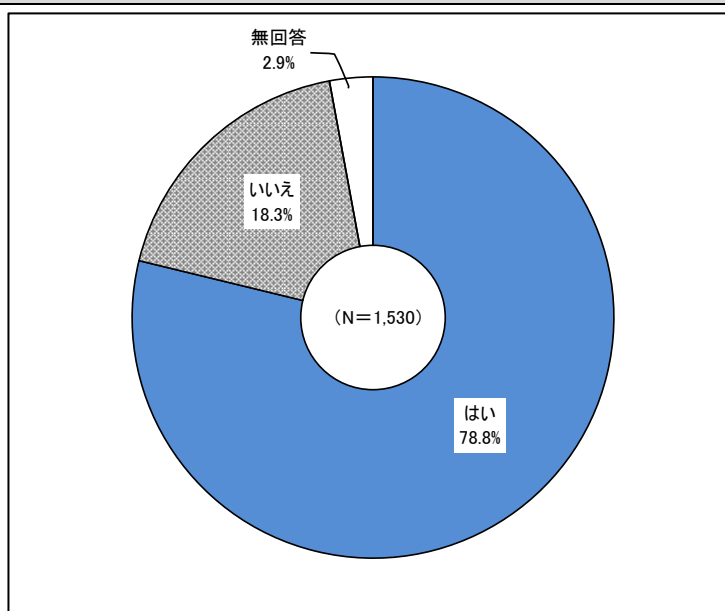
【回答者数=1,530】

1 はい	78.8% (78.3%)
2 いいえ	18.3% (18.9%)
(無回答)	2.9% (2.8%)

食事で主食・主菜・副菜の3種類をそろえて食べるようにしている人の状況について、「はい」78.8%、「いいえ」18.3%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「はい」78.3%、「いいえ」18.9%となっている。

図表 3-(4)-1 食事で主食・主菜・副菜の3種類をそろえて食べるようにしている人の状況について



(5)うどんを食べるときは副食をいっしょにとるようにしている人の状況について

問22 うどんを食べるときは副食をいっしょにとるようにしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

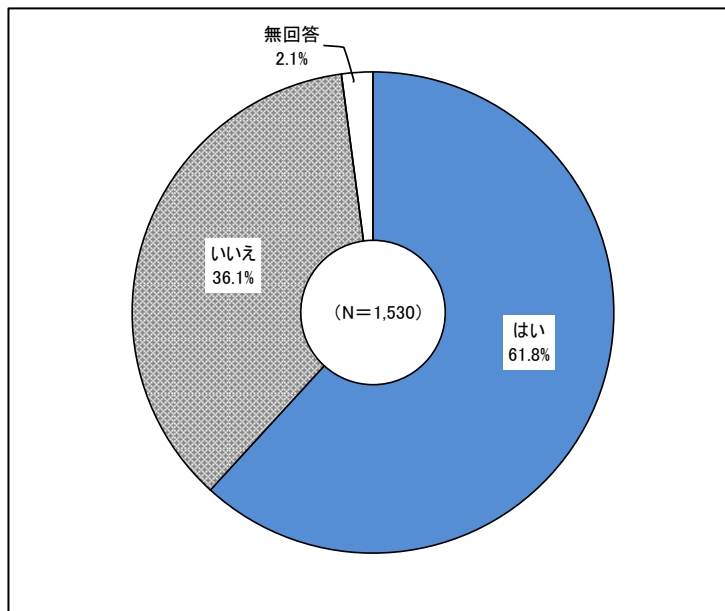
【回答者数=1,530】

1 はい	61.8% (59.6%)
2 いいえ	36.1% (38.3%)
(無回答)	2.1% (2.0%)

うどんを食べるときは副食をいっしょにとるようにしている人の状況について、「はい」61.8%、「いいえ」36.1%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「はい」59.6%、「いいえ」38.3%となっている。

図表 3-(5)-1 うどんを食べるときは副食をいっしょにとるようにしている人の状況について



(6)朝食の喫食状況について

問23 朝食をどの程度食べますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

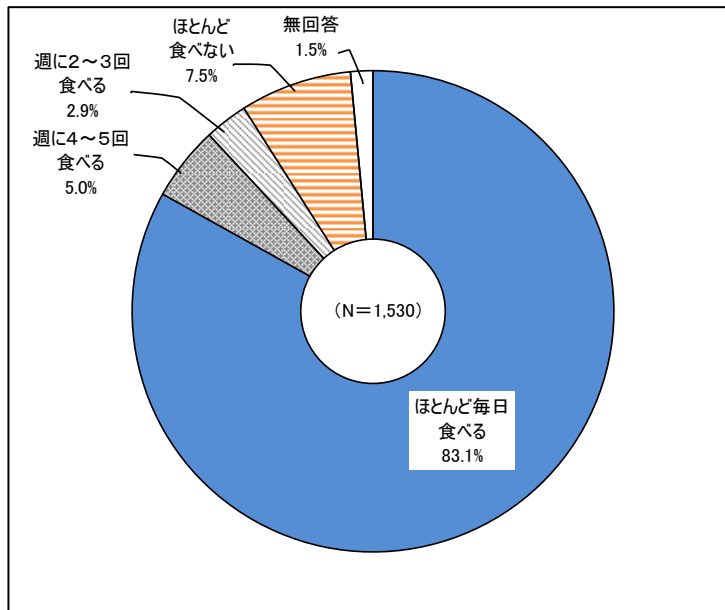
【回答者数=1,530】

1	ほとんど毎日食べる	83.1% (81.5%)
2	週に4～5回食べる	5.0% (5.5%)
3	週に2～3回食べる	2.9% (3.4%)
4	ほとんど食べない	7.5% (8.2%)
	(無回答)	1.5% (1.5%)

朝食の喫食状況について、「ほとんど毎日食べる」83.1%が最も高く、次いで「ほとんど食べない」7.5%、「週に4～5回食べる」5.0%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ほとんど毎日食べる」81.5%が最も高く、次いで「ほとんど食べない」8.2%、「週に4～5回食べる」5.5%などとなっている。

図表 3-(6)-1 朝食の喫食状況について



(7)身長、体重について

問24 差し支えなければ、あなたの身長・体重をご記入ください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,364】

1 身長 平均161.8cm(161.9cm)

【回答者数=1,344】

2 体重 平均 60.1kg(59.9kg)

身長について、平均 161.8cm となっている。体重について、平均 60.1kg となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、身長について、平均 161.9cm となっている。体重について、平均 59.9kg となっている。

(8)「食品ロス」の認知度について

問25 我が国では、食料の多くを海外からの輸入に頼っている一方で、平成27年度推計（農林水産省・環境省）で年間約646万トンにのぼる「食品ロス」が発生しています。「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

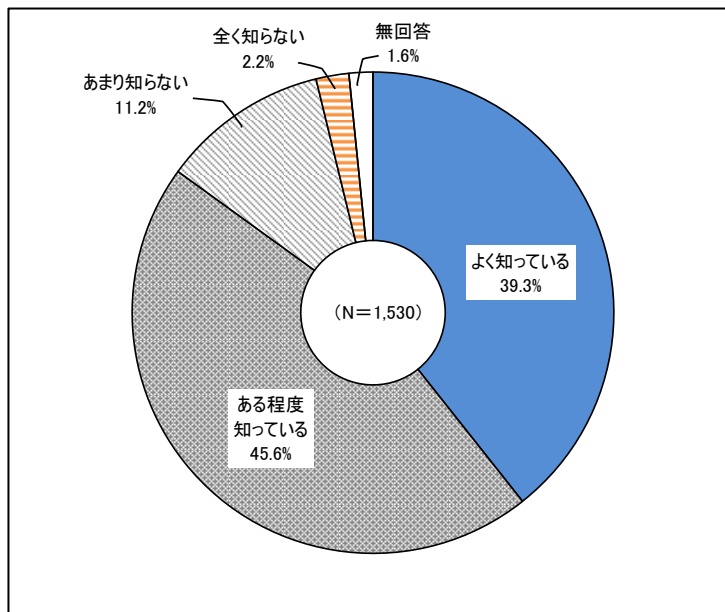
【回答者数=1,530】

1 よく知っている	39.3% (38.5%)
2 ある程度知っている	45.6% (44.8%)
3 あまり知らない	11.2% (12.4%)
4 全く知らない	2.2% (2.7%)
(無回答)	1.6% (1.6%)

「食品ロス」の認知度について、「ある程度知っている」45.6%が最も高く、次いで「よく知っている」39.3%、「あまり知らない」11.2%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ある程度知っている」44.8%が最も高く、次いで「よく知っている」38.5%、「あまり知らない」12.4%などとなっている。

図表 3-(8)-1 「食品ロス」の認知度について



(9)「食品ロス」を減らすために取り組んでいることについて

問26 「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1	残さず食べる	68.2% (68.7%)
2	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	58.9% (58.3%)
3	冷凍保存を活用する	58.8% (57.6%)
4	料理を作り過ぎない	51.3% (50.1%)
5	小分け商品、少量パック商品、バラ売りなど、食べきれる量を購入する	38.0% (37.7%)
6	日ごろから冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する	36.8% (36.2%)
7	飲食店などで注文し過ぎない	29.9% (30.8%)
8	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	26.3% (26.2%)
9	その他	1.0% (0.9%)
10	特にない	1.5% (1.5%)
	(無回答)	0.2% (0.2%)

「食品ロス」を減らすために取り組んでいることについて、「残さず食べる」68.2%が最も高く、次いで「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」58.9%、「冷凍保存を活用する」58.8%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「残さず食べる」68.7%が最も高く、次いで「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」58.3%、「冷凍保存を活用する」57.6%などとなっている。

図表 3-(9)-1 「食品ロス」を減らすために取り組んでいることについて

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 残さず食べる	68.2	1,043 人
(2) 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	58.9	901 人
(3) 冷凍保存をする	58.8	899 人
(4) 料理を作り過ぎない	51.3	785 人
(5) 小分け商品、少量パック商品、バラ売りなど、食べきれぬ量を購入する	38.0	581 人
(6) 日ごろから冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する	36.8	563 人
(7) 飲食店などで注文し過ぎない	29.9	457 人
(8) 残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)	26.3	402 人
(9) その他	1.0	15 人
(10) 特になし	1.5	23 人
無回答	0.2	3 人

グラフ単位：(%)

(10)食育について重要と思う方策について

問27 食育について、あなたが重要と思う方策はどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1	家庭における食育の推進	64.9% (64.2%)
2	学校・保育所などにおける食育の推進	55.8% (56.2%)
3	地産地消の推進	53.2% (52.2%)
4	食の安全・安心の推進	49.8% (49.5%)
5	ライフステージ（若年世代、働き盛り世代、高齢者など）に応じた食育の推進	37.3% (36.7%)
6	かがわの食文化の継承	22.0% (22.0%)
7	食と農水産への理解の促進（農林漁業体験や生産者などとの交流を通じた食への理解）	14.4% (14.4%)
8	食育推進のための県民運動（地域のネットワークや各種広報媒体による普及啓発など）	9.6% (9.4%)
9	食に関するボランティアや関係団体などとの連携・協働による食育の推進	7.1% (7.0%)
10	その他	0.8% (0.8%)
11	わからない（「食育」自体についてよく知らない）	4.1% (4.2%)
12	興味がない	1.8% (1.9%)
	（無回答）	0.7% (0.7%)

食育について重要と思う方策について、「家庭における食育の推進」64.9%が最も高く、次いで「学校・保育所などにおける食育の推進」55.8%、「地産地消の推進」53.2%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「家庭における食育の推進」64.2%が最も高く、次いで「学校・保育所などにおける食育の推進」56.2%、「地産地消の推進」52.2%などとなっている。

図表 3-(10)-1 食育について重要と思う方策について

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 家庭における食育の推進	64.9	993 人
(2) 学校・保育所などにおける食育の推進	55.8	853 人
(3) 地産地消の推進	53.2	814 人
(4) 食の安全・安心の推進	49.8	762 人
(5) ライフステージ(若年世代、働き盛り世代、高齢者など)に応じた食育の推進	37.3	570 人
(6) かがわの食文化の継承	22.0	337 人
(7) 食と農水産への理解の促進(農林漁業体験や生産者などとの交流を通じた食への理解)	14.4	221 人
(8) 食育推進のための県民活動(地域のネットワークや各種広報媒体による普及啓発など)	9.6	147 人
(9) 食に関するボランティアや関係団体との連携・協働による食育の推進	7.1	108 人
(10) その他	0.8	13 人
(11) わからない	4.1	63 人
(12) 興味がない	1.8	28 人
無回答	0.7	11 人

グラフ単位:(%)

4. 高齢者の保健福祉について

(1) 介護保険のあり方について

問28 介護サービスを利用する人が増えたり、1人あたりのサービス利用額が増えたりすると、各市町において、3年ごとに定める介護保険料の額は高くなる仕組みになっています。このことを踏まえたうえで、介護保険のあり方について、あなたの考え方に最も近いものを、次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

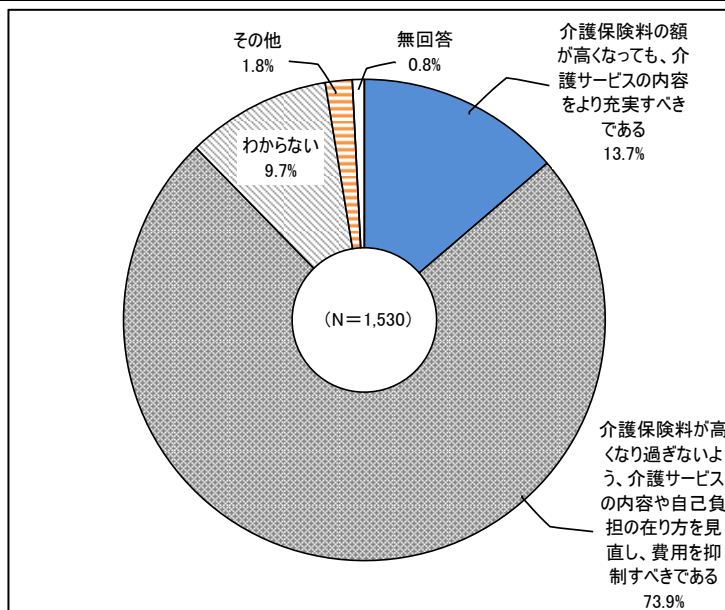
【回答者数=1,530】

1 介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである	13.7% (13.9%)
2 介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである	73.9% (73.3%)
3 わからない	9.7% (10.1%)
4 その他	1.8% (1.9%)
(無回答)	0.8% (0.8%)

介護保険のあり方について、「介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである」73.9%が最も高く、次いで「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」13.7%、「わからない」9.7%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである」73.3%が最も高く、次いで「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」13.9%、「わからない」10.1%などとなっている。

図表 4-(1)-1 介護保険のあり方について



(2) 将来の住まいと介護サービスの利用について

問29 将来の住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

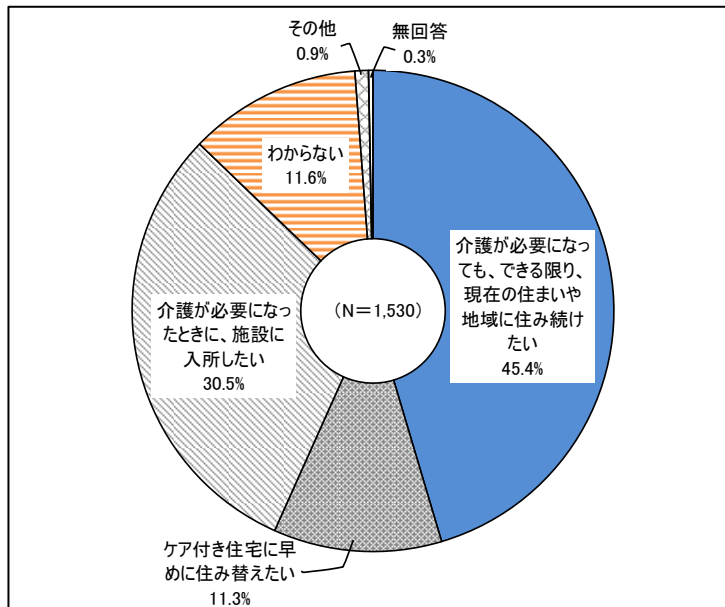
【回答者数=1,530】

1 介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい	45.4% (45.3%)
2 ケア付き住宅（高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅）に早めに住み替えたい	11.3% (11.6%)
3 介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい	30.5% (30.2%)
4 わからない	11.6% (11.8%)
5 その他	0.9% (0.9%)
（無回答）	0.3% (0.3%)

将来の住まいと介護サービスの利用について、「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」45.4%が最も高く、次いで「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」30.5%、「わからない」11.6%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」45.3%が最も高く、次いで「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」30.2%、「わからない」11.8%などとなっている。

図表 4-(2)-1 将来の住まいと介護サービスの利用について



(3)施設入所を希望する理由について

【問29で「3」と答えた方にお聞きします】

付問7 施設入所を希望される理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

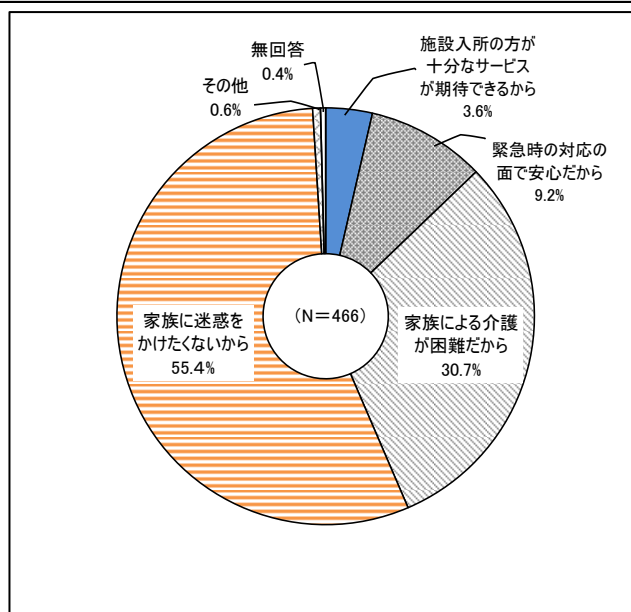
【回答者数=466】

1 施設入所の方が十分なサービスが期待できるから	3.6% (3.7%)
2 緊急時の対応の面で安心だから	9.2% (10.1%)
3 家族による介護が困難だから	30.7% (29.8%)
4 家族に迷惑をかけたくないから	55.4% (55.4%)
5 その他	0.6% (0.6%)
(無回答)	0.4% (0.4%)

施設入所を希望する理由について、「家族に迷惑をかけたくないから」55.4%が最も高く、次いで「家族による介護が困難だから」30.7%、「緊急時の対応の面で安心だから」9.2%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「家族に迷惑をかけたくないから」55.4%が最も高く、次いで「家族による介護が困難だから」29.8%、「緊急時の対応の面で安心だから」10.1%などとなっている。

図表 4-(3)-1 施設入所を希望する理由について



(4)一人暮らしの高齢者などへの手助けについて

問30 地域で何らかの日常生活上の支援を必要としている一人暮らしの高齢者などへの手助けについて、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

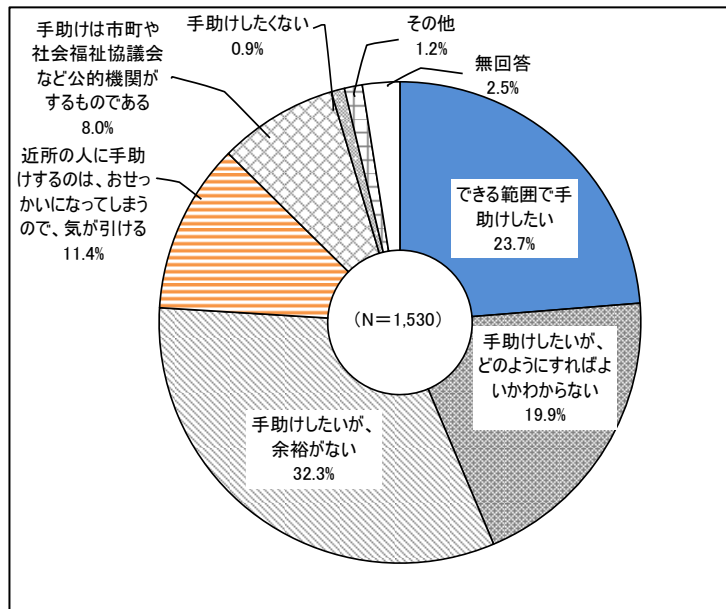
【回答者数=1,530】

1	できる範囲で手助けしたい	23.7% (23.4%)
2	手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない	19.9% (20.3%)
3	手助けしたいが、余裕がない	32.3% (32.7%)
4	近所の人に手助けするのは、おせっかいになってしまうので、気が引ける	11.4% (10.7%)
5	手助けは市町や社会福祉協議会など公的機関がするものである	8.0% (8.3%)
6	手助けしたくない	0.9% (0.9%)
7	その他	1.2% (1.1%)
	(無回答)	2.5% (2.7%)

一人暮らしの高齢者などへの手助けについて、「手助けしたいが、余裕がない」32.3%が最も高く、次いで「できる範囲で手助けしたい」23.7%、「手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない」19.9%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「手助けしたいが、余裕がない」32.7%が最も高く、次いで「できる範囲で手助けしたい」23.4%、「手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない」20.3%などとなっている。

図表 4-(4)-1 一人暮らしの高齢者などへの手助けについて



(5) 認知症施策で関心のあることについて

問31 認知症施策で関心のあることはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1	認知症の予防に向けた取り組み	59.4% (59.6%)
2	家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み	59.4% (58.8%)
3	認知症を治せる薬や治療法の開発	51.2% (51.6%)
4	認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	48.1% (47.4%)
5	家族の仕事と介護の両立支援などを含めた経済的負担を減らす取り組み	47.6% (47.6%)
6	できるだけ早い段階からの医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり	46.1% (46.2%)
7	認知症に関する正しい知識と理解の啓発・情報提供	43.9% (43.6%)
8	認知症の人が利用できる介護施設の充実	39.9% (39.0%)
9	認知症の人を地域で見守る体制の充実	28.7% (28.1%)
10	悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取り組み	27.3% (27.3%)
11	日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	16.3% (16.2%)
12	その他	0.1% (0.1%)
	(無回答)	2.2% (2.3%)

認知症施策で関心のあることについて、「認知症の予防に向けた取り組み」59.4%と「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」59.4%が最も高く、次いで「認知症を治せる薬や治療法の開発」51.2%、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」48.1%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「認知症の予防に向けた取り組み」59.6%が最も高く、次いで「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」58.8%、「認知症を治せる薬や治療法の開発」51.6%などとなっている。

図表 4-(5)-1 認知症施策に関心のあることについて

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 認知症の予防に向けた取組み	59.4	909 人
(2) 家族の身体的・精神的負担を減らす取組み	59.4	909 人
(3) 認知症を治せる薬や治療法の開発	51.2	784 人
(4) 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	48.1	736 人
(5) 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた経済的負担を減らす取組み	47.6	729 人
(6) できるだけ早い段階からの医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり	46.1	705 人
(7) 認知症に関する正しい知識と理解の啓発・情報提供	43.9	671 人
(8) 認知症の人が利用できる介護施設の充実	39.9	610 人
(9) 認知症の人を地域で見守る体制の充実	28.7	439 人
(10) 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組み	27.3	418 人
(11) 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	16.3	250 人
(12) その他	0.1	2 人
無回答	2.2	34 人

グラフ単位：(%)

(6) 高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策について

問32 今後も高齢化が進行していく社会において、あなたが重要と思われる方策はどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1	健康づくりや介護予防	59.3% (58.7%)
2	高齢者活躍の場の確保 (活躍の場への誘導)	48.5% (48.8%)
3	住宅や交通などの住環境の充実	44.7% (44.6%)
4	介護サービス施設などの量的充実	43.6% (43.3%)
5	介護サービスの質の向上	41.6% (42.2%)
6	地域医療の充実	40.8% (40.1%)
7	地域で支え合う体制の充実	38.6% (38.7%)
8	認知症高齢者施策の推進	32.5% (32.3%)
9	災害時の援護体制の整備	28.2% (28.7%)
10	交通安全の確保	27.4% (29.1%)
11	高齢者虐待の防止	22.6% (23.2%)
12	犯罪被害の防止	19.9% (20.5%)
13	その他	1.4% (1.8%)
	(無回答)	2.0% (2.0%)

高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策について、「健康づくりや介護予防」59.3%が最も高く、次いで「高齢者活躍の場の確保 (活躍の場への誘導)」48.5%、「住宅や交通などの住環境の充実」44.7%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「健康づくりや介護予防」58.7%が最も高く、次いで「高齢者活躍の場の確保 (活躍の場への誘導)」48.8%、「住宅や交通などの住環境の充実」44.6%などとなっている。

図表 4-(6)-1 高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策について

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 健康づくりや介護予防	59.3	907 人
(2) 高齢者活躍の場の確保(活躍の場への誘導)	48.5	742 人
(3) 住宅や交通などの住環境の充実	44.7	684 人
(4) 介護サービス施設などの量的充実	43.6	667 人
(5) 介護サービスの質の向上	41.6	637 人
(6) 地域医療の充実	40.8	625 人
(7) 地域で支え合う体制の充実	38.6	591 人
(8) 認知症高齢者施策の推進	32.5	497 人
(9) 災害時の援護体制の整備	28.2	431 人
(10) 交通安全の確保	27.4	419 人
(11) 高齢者虐待の防止	22.6	346 人
(12) 犯罪被害の防止	19.9	305 人
(13) その他	1.4	22 人
無回答	2.0	30 人

グラフ単位:(%)

5. 県公式ホームページについて

(1) 県公式ホームページを見たことがあるかについて

問33 県公式ホームページを見たことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

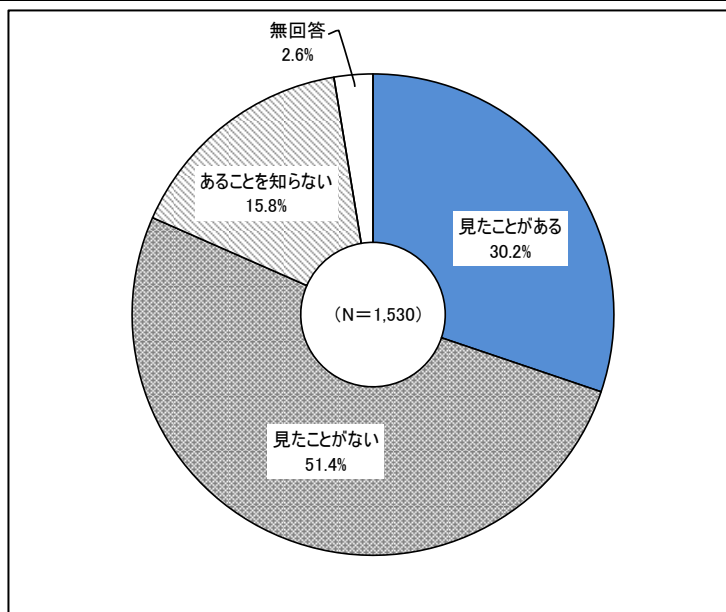
【回答者数=1,530】

1 見たことがある	30.2% (30.6%)
2 見たことがない	51.4% (50.6%)
3 あることを知らない	15.8% (16.2%)
(無回答)	2.6% (2.6%)

県公式ホームページを見たことがあるかについて、「見たことがない」51.4%が最も高く、次いで「見たことがある」30.2%、「あることを知らない」15.8%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「見たことがない」50.6%が最も高く、次いで「見たことがある」30.6%、「あることを知らない」16.2%となっている。

図表 5-(1)-1 県公式ホームページを見たことがあるかについて



(2) 県公式ホームページの印象について

問34 県公式ホームページをご覧になった方（今までに見たことがない方で、この調査の回答のためにご覧になった方も含みます。）にお伺いします。印象について、それぞれ1～3のうち、あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=756, 744, 752】

(単位：%)

項 目	印象		
	① 見 や す い わ か り や す い	② ふ つ う	③ 見 づ ら い わ か り に く い
1 トップページのレイアウト (ページ内の文章や写真、図などの配置)	19.0 (18.6)	70.0 (70.2)	11.0 (11.1)
2 トップページのデザイン (色、文字サイズ、写真などページの見栄え)	16.1 (16.3)	72.8 (72.5)	11.0 (11.1)
3 ホームページ全体の構成 (分類)	14.2 (14.0)	68.4 (68.9)	17.4 (17.1)

県公式ホームページの印象について、【1. トップページのレイアウト】では、「ふつう」70.0%が最も高く、次いで「見やすい、わかりやすい」19.0%、「見づらい、わかりにくい」11.0%となっている。

【2. トップページのデザイン】では、「ふつう」72.8%が最も高く、次いで「見やすい、わかりやすい」16.1%、「見づらい、わかりにくい」11.0%となっている。

【3. ホームページ全体の構成】では、「ふつう」68.4%が最も高く、次いで「見づらい、わかりにくい」17.4%、「見やすい、わかりやすい」14.2%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【1. トップページのレイアウト】では、「ふつう」70.2%が最も高く、次いで「見やすい、わかりやすい」18.6%、「見づらい、わかりにくい」11.1%となっている。

【2. トップページのデザイン】では、「ふつう」72.5%が最も高く、次いで「見やすい、わかりやすい」16.3%、「見づらい、わかりにくい」11.1%となっている。

【3. ホームページ全体の構成】では、「ふつう」68.9%が最も高く、次いで「見づらい、わかりにくい」17.1%、「見やすい、わかりやすい」14.0%となっている。

(3)改善方法について

【問34の1～3のうち、1つでも「3」と答えた方にお聞きします】

付問8 どのように改善すればよいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=163】※回答数の多い順に並び替え

- 1 トップページのレイアウトは、文字を減らすなど簡潔な構成とする 53.4%(55.5%)
- 2 ホームページ全体の構成(分類)は、分野別だけではなく、所属別も加える 31.3%(29.2%)
- 3 トップページのデザインは、写真、イラストを多く使用する 27.6%(28.7%)
- 4 その他 17.8%(18.8%)
- (無回答) 5.5%(5.3%)

改善方法について、「トップページのレイアウトは、文字を減らすなど簡潔な構成とする」53.4%が最も高く、次いで「ホームページ全体の構成(分類)は、分野別だけではなく、所属別も加える」31.3%、「トップページのデザインは、写真、イラストを多く使用する」27.6%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「トップページのレイアウトは、文字を減らすなど簡潔な構成とする」55.5%が最も高く、次いで「ホームページ全体の構成(分類)は、分野別だけではなく、所属別も加える」29.2%、「トップページのデザインは、写真、イラストを多く使用する」28.7%などとなっている。

図表 5-(3)-1 改善方法について

		回答数
全体	100.0	163 人
(1) トップページのレイアウトは、文字を減らすなど簡潔な構成とする	53.4	87 人
(2) ホームページ全体の構成(分類)は、分野別だけではなく、所属別も加える	31.3	51 人
(3) トップページのデザインは、写真、イラストを多く使用する	27.6	45 人
(4) その他	17.8	29 人
無回答	5.5	9 人

グラフ単位:(%)

(4) 県公式ホームページで知りたい情報は探しやすいかについて

問35 県公式ホームページをご覧になった方（今までに見たことがない方で、この調査の回答のためにご覧になった方も含みます。）にお伺いします。県公式ホームページで知りたい情報は探しやすいですか。次の中から1つだけ選んでください。

※（）内の割合はウェイトバックした値

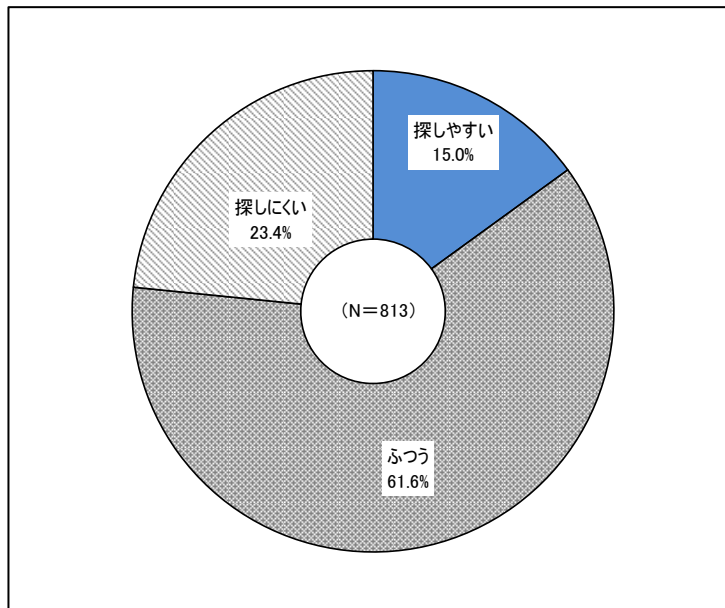
【回答者数=813】

1 探しやすい	15.0% (14.0%)
2 ふつう	61.6% (62.1%)
3 探しにくい	23.4% (23.9%)

県公式ホームページで知りたい情報は探しやすいかについて、「ふつう」61.6%が最も高く、次いで「探しにくい」23.4%、「探しやすい」15.0%となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ふつう」62.1%が最も高く、次いで「探しにくい」23.9%、「探しやすい」14.0%となっている。

図表 5-(4)-1 県公式ホームページで知りたい情報は探しやすいかについて



(5) 探しやすいするための改善方法について

【問35で「3」と答えた方にお聞きします】

付問9 探しやすいするためには、どのように改善すればよいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=190】※回答数の多い順に並び替え

1 ホームページ全体の構成（分類）をわかりやすく簡潔にする	53.7% (54.3%)
2 各ページを整理統合し、検索しやすくする	47.4% (46.6%)
3 各ページに、関連情報の掲載ページのタイトルを表示する	20.0% (21.6%)
4 その他	7.4% (6.7%)
(無回答)	5.3% (5.4%)

探しやすいするための改善方法について、「ホームページ全体の構成（分類）をわかりやすく簡潔にする」53.7%が最も高く、次いで「各ページを整理統合し、検索しやすくする」47.4%、「各ページに、関連情報の掲載ページのタイトルを表示する」20.0%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ホームページ全体の構成（分類）をわかりやすく簡潔にする」54.3%が最も高く、次いで「各ページを整理統合し、検索しやすくする」46.6%、「各ページに、関連情報の掲載ページのタイトルを表示する」21.6%などとなっている。

図表 5-(5)-1 探しやすいするための改善方法について

		回答数
全体	100.0	190 人
(1) ホームページ全体の構成（分類）をわかりやすく簡潔にする	53.7	102 人
(2) 各ページを整理統合し、検索しやすくする	47.4	90 人
(3) 各ページに、関連情報の掲載ページのタイトルを表示する	20.0	38 人
(4) その他	7.4	14 人
無回答	5.3	10 人

グラフ単位：(%)

(6) 魅力ある県公式ホームページにするために必要だと思うことについて

問36 魅力ある県公式ホームページにするために必要だと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1 知りたい情報にたどり着きやすい	58.0% (58.6%)
2 見やすいデザインやレイアウトにする	31.4% (33.1%)
3 障害のある方や高齢の方が利用しやすい	23.7% (24.9%)
4 多言語対応している (外国人が見やすい)	10.9% (12.2%)
5 その他	1.8% (2.0%)
(無回答)	30.8% (29.8%)

魅力ある県公式ホームページにするために必要だと思うことについて、「知りたい情報にたどり着きやすい」58.6%が最も高く、次いで「見やすいデザインやレイアウトにする」31.4%、「障害のある方や高齢の方が利用しやすい」23.7%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「知りたい情報にたどり着きやすい」58.6%が最も高く、次いで「見やすいデザインやレイアウトにする」33.1%、「障害のある方や高齢の方が利用しやすい」24.9%などとなっている。

図表 5-(6)-1 魅力ある県公式ホームページにするために必要だと思うことについて

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 知りたい情報にたどり着きやすい	58.0	888 人
(2) 見やすいデザインやレイアウトにする	31.4	481 人
(3) 障害のある方や高齢の方が利用しやすい	23.7	363 人
(4) 多言語対応している(外国人が見やすい)	10.9	167 人
(5) その他	1.8	28 人
無回答	30.8	471 人

グラフ単位: (%)

6. 県政の重要度と満足度について

県では、平成 28 年度からの新たな香川づくりの指針として、「新・せとうち田園都市創造計画」※を策定し、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の 3 つの基本方針のもと、さまざまな施策に取り組んでいます。

この計画を着実に推進し、県民の皆さまのニーズ(要望)に対応した県政を進めるためには、皆さまが「県行政に対して何を求めているのか」、「現在の状況にどのくらい満足しているのか」を知り、それを県政に反映させていくことが重要となります。

そこで、この計画で展開することとしている 24 の分野を対象に、皆さまが考える重要度と満足度についてお伺いしますので、以下の質問にお答えください。

「重要度」については、今の生活やこれからの生活を送っていくうえでどのくらい重要かを、また、「満足度」については、現状にどのくらい満足しているかを、それぞれ 5 段階で評価してください。

※「新・せとうち田園都市創造計画」

本県の進むべき基本的方向とそれを実現するための方策を明らかにした県政運営の基本指針で、計画期間は平成 28 年度から令和 2 年度の 5 年間です。

この計画では、「せとうち田園都市の新たな創造」を基本目標に掲げ、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の 3 つの基本方針のもと、人口減少の克服や地域活力の向上につながる効果的な施策に重点的に取り組み、人口の社会増を伴う、魅力ある瀬戸内香川の生活圏域づくりをめざしています。

(1)成長する香川（重要度）

問37 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「成長する香川」についておたずねします。

「成長する香川」の実現に向けて展開している1～7の分野について、あなたの<重要度>を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

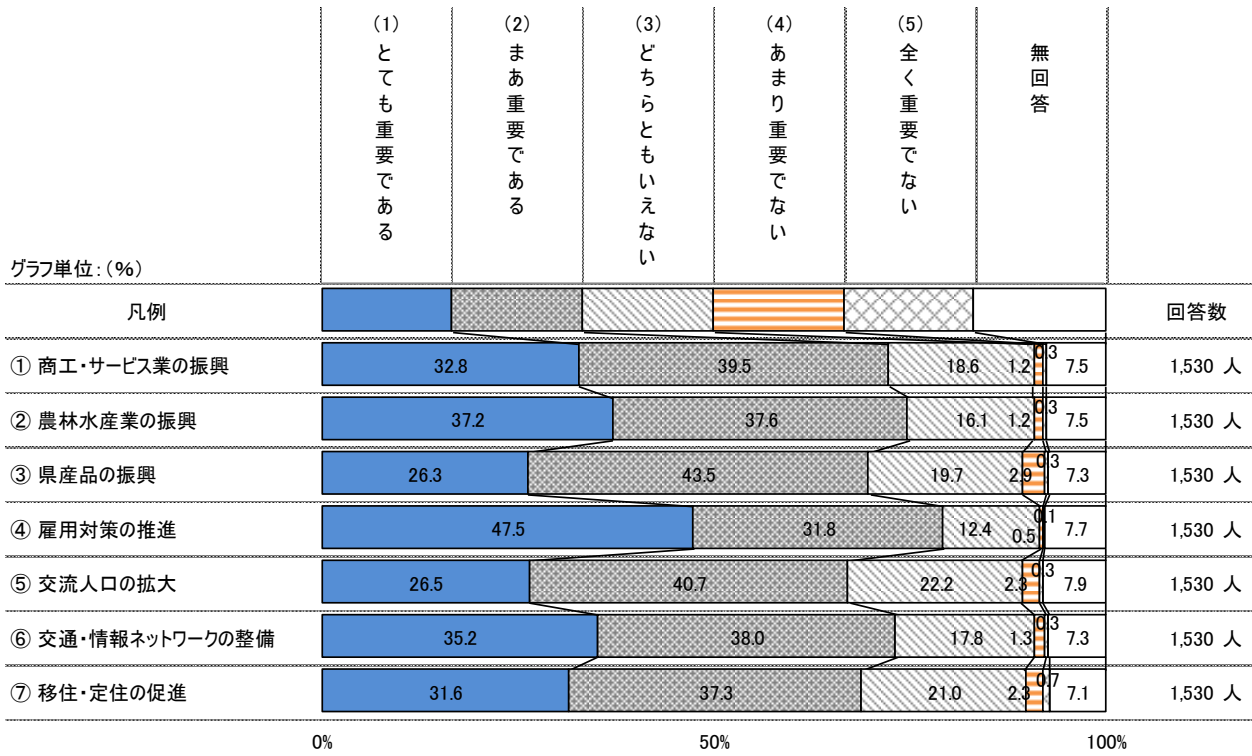
【回答者数=1,530】

分 野	重要度					
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	無回答
1 商工・サービス業の振興	32.8 (32.8)	39.5 (39.4)	18.6 (18.8)	1.2 (1.1)	0.3 (0.3)	7.5 (7.5)
2 農林水産業の振興	37.2 (37.2)	37.6 (37.9)	16.1 (16.0)	1.2 (1.2)	0.3 (0.3)	7.5 (7.5)
3 県産品の振興	26.3 (26.3)	43.5 (43.2)	19.7 (19.8)	2.9 (3.2)	0.3 (0.3)	7.3 (7.2)
4 雇用対策の推進	47.5 (48.1)	31.8 (31.4)	12.4 (12.2)	0.5 (0.5)	0.1 (0.1)	7.7 (7.6)
5 交流人口の拡大	26.5 (26.8)	40.7 (40.1)	22.2 (22.5)	2.3 (2.4)	0.3 (0.3)	7.9 (7.9)
6 交通・情報ネットワークの整備	35.2 (35.8)	38.0 (37.5)	17.8 (17.8)	1.3 (1.4)	0.3 (0.3)	7.3 (7.2)
7 移住・定住の促進	31.6 (31.8)	37.3 (37.0)	21.0 (21.1)	2.3 (2.2)	0.7 (0.8)	7.1 (7.1)

「成長する香川」の重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、「雇用対策の推進」79.3%が最も高く、次いで「農林水産業の振興」74.8%、「交通・情報ネットワークの整備」73.2%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、「雇用対策の推進」79.5%が最も高く、次いで「農林水産業の振興」75.1%、「交通・情報ネットワークの整備」73.3%などとなっている。

図表 6-(1) 成長する香川（重要度）



(2) 成長する香川（満足度）

問37 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「成長する香川」についておたずねします。

「成長する香川」の実現に向けて展開している1～7の分野について、あなたの＜満足度＞を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】

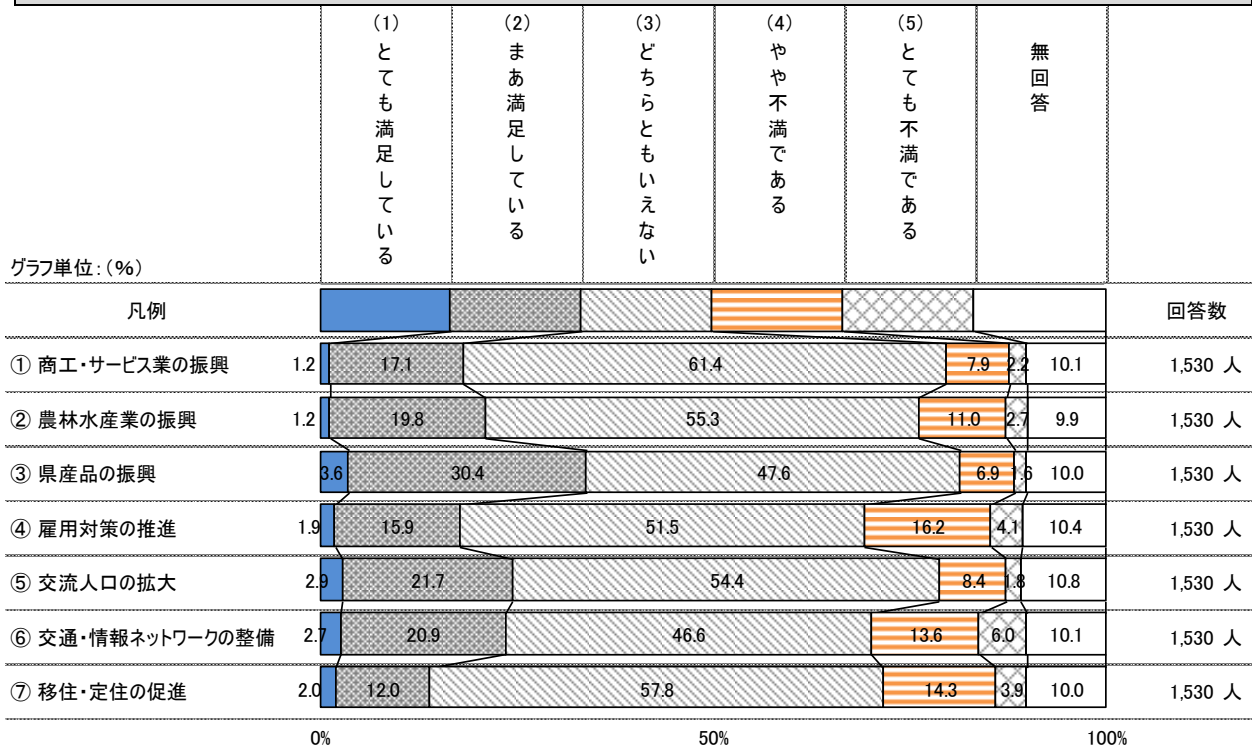
分 野	満足度					
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
1 商工・サービス業の振興	1.2 (1.3)	17.1 (17.7)	61.4 (60.9)	7.9 (7.9)	2.2 (2.3)	10.1 (9.9)
2 農林水産業の振興	1.2 (1.2)	19.8 (20.9)	55.3 (54.5)	11.0 (10.9)	2.7 (2.8)	9.9 (9.7)
3 県産品の振興	3.6 (4.1)	30.4 (30.6)	47.6 (47.1)	6.9 (6.9)	1.6 (1.7)	10.0 (9.7)
4 雇用対策の推進	1.9 (2.1)	15.9 (16.2)	51.5 (50.9)	16.2 (16.5)	4.1 (4.2)	10.4 (10.1)
5 交流人口の拡大	2.9 (3.1)	21.7 (21.4)	54.4 (54.7)	8.4 (8.5)	1.8 (1.9)	10.8 (10.5)
6 交通・情報ネットワークの整備	2.7 (3.0)	20.9 (21.2)	46.6 (46.1)	13.6 (13.7)	6.0 (6.2)	10.1 (9.8)
7 移住・定住の促進	2.0 (2.4)	12.0 (12.4)	57.8 (56.6)	14.3 (14.7)	3.9 (4.1)	10.0 (9.7)

「成長する香川」の満足度について、「商工・サービス業の振興」及び「農林水産業の振興」、「県産品の振興」、「交流人口の拡大」、「交通・情報ネットワークの整備」では、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合が、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】の割合を上回っている。

一方で、「雇用対策の推進」及び「移住・定住の促進」では、【不満である】の割合が【満足している】の割合を上回っている。

ウェイトバック集計した値においても、同じ結果となっている。

図表 6-(2) 成長する香川（満足度）



(3)信頼・安心の香川（重要度）

問38 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「信頼・安心の香川」についておたずねします。
 「信頼・安心の香川」の実現に向けて展開している8～15の分野について、あなたの＜重要度＞を、
 それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※（）内の割合はウェイトバックした値

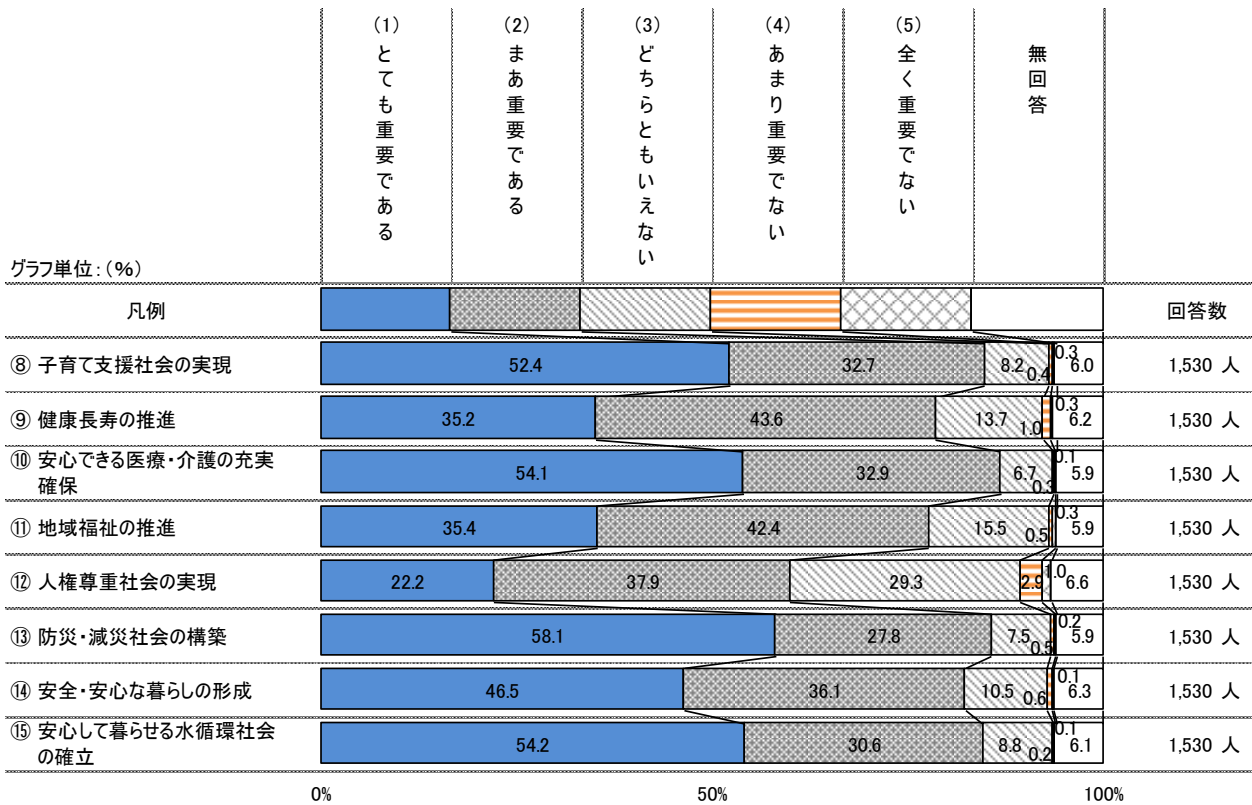
【回答者数=1,530】

分 野	重要度					
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	無回答
8 子育て支援社会の実現	52.4 (53.5)	32.7 (31.9)	8.2 (8.0)	0.4 (0.4)	0.3 (0.3)	6.0 (5.9)
9 健康長寿の推進	35.2 (35.0)	43.6 (43.2)	13.7 (14.2)	1.0 (1.1)	0.3 (0.4)	6.2 (6.1)
10 安心できる医療・介護の充実確保	54.1 (54.5)	32.9 (32.5)	6.7 (6.7)	0.3 (0.3)	0.1 (0.1)	5.9 (5.8)
11 地域福祉の推進	35.4 (36.2)	42.4 (41.7)	15.5 (15.4)	0.5 (0.6)	0.3 (0.3)	5.9 (5.8)
12 人権尊重社会の実現	22.2 (22.7)	37.9 (37.9)	29.3 (28.7)	2.9 (3.0)	1.0 (1.2)	6.6 (6.5)
13 防災・減災社会の構築	58.1 (59.1)	27.8 (27.1)	7.5 (7.3)	0.5 (0.4)	0.2 (0.3)	5.9 (5.8)
14 安全・安心な暮らしの形成	46.5 (47.0)	36.1 (35.7)	10.5 (10.5)	0.6 (0.6)	0.1 (0.0)	6.3 (6.2)
15 安心して暮らせる水循環社会の確立	54.2 (53.9)	30.6 (30.7)	8.8 (9.2)	0.2 (0.2)	0.1 (0.1)	6.1 (6.0)

「信頼・安心の香川」の重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、「安心できる医療・介護の充実確保」87.0%が最も高く、次いで「防災・減災社会の構築」85.9%、「子育て支援社会の実現」85.1%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、「安心できる医療・介護の充実確保」87.0%が最も高く、次いで「防災・減災社会の構築」86.2%、「子育て支援社会の実現」85.4%などとなっている。

図表 6-(3) 信頼・安心の香川（重要度）



(4)信頼・安心の香川（満足度）

問38 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「信頼・安心の香川」についておたずねします。
 「信頼・安心の香川」の実現に向けて展開している8～15の分野について、あなたの＜満足度＞を、
 それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※（）内の割合はウェイトバックした値

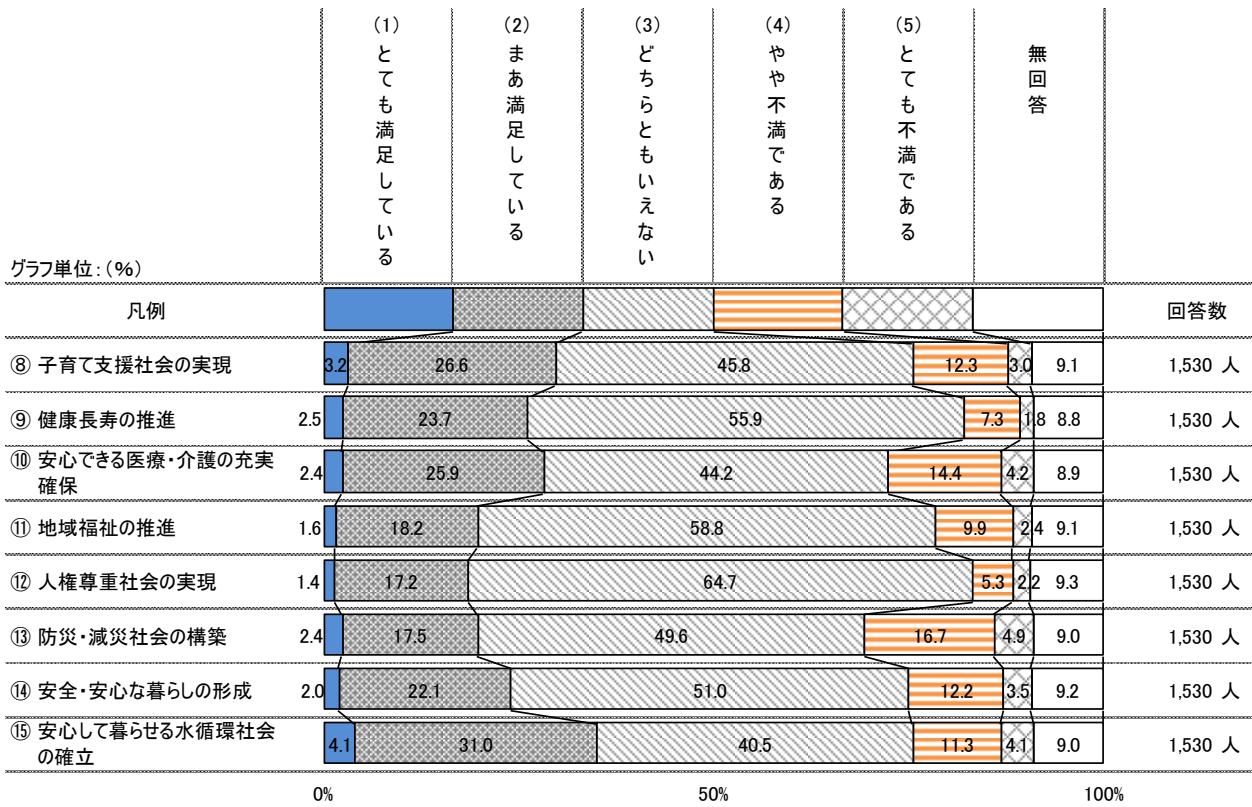
【回答者数=1,530】

分 野	満足度					無回答
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	
8 子育て支援社会の実現	3.2 (3.5)	26.6 (26.4)	45.8 (45.3)	12.3 (13.1)	3.0 (3.0)	9.1 (8.7)
9 健康長寿の推進	2.5 (2.8)	23.7 (23.3)	55.9 (56.3)	7.3 (7.3)	1.8 (1.8)	8.8 (8.5)
10 安心できる医療・介護の充実確保	2.4 (2.5)	25.9 (26.2)	44.2 (43.7)	14.4 (14.6)	4.2 (4.3)	8.9 (8.6)
11 地域福祉の推進	1.6 (1.9)	18.2 (18.7)	58.8 (58.4)	9.9 (9.9)	2.4 (2.4)	9.1 (8.7)
12 人権尊重社会の実現	1.4 (1.6)	17.2 (17.4)	64.7 (64.4)	5.3 (5.4)	2.2 (2.3)	9.3 (8.9)
13 防災・減災社会の構築	2.4 (2.6)	17.5 (18.0)	49.6 (48.6)	16.7 (17.0)	4.9 (5.2)	9.0 (8.6)
14 安全・安心な暮らしの形成	2.0 (2.4)	22.1 (22.4)	51.0 (50.6)	12.2 (12.0)	3.5 (3.7)	9.2 (8.9)
15 安心して暮らせる水循環社会の確立	4.1 (4.4)	31.0 (30.8)	40.5 (40.8)	11.3 (11.2)	4.1 (4.1)	9.0 (8.7)

「信頼・安心の香川」の満足度について、「防災・減災社会の構築」では、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】の割合が、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合を上回っており、その他の分野では、【満足している】の割合が【不満である】の割合を上回っている。

ウェイトバック集計した値においても、同じ結果となっている。

図表 6-(4) 信頼・安心の香川（満足度）



(5) 笑顔で暮らせる香川（重要度）

問39 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「笑顔で暮らせる香川」についておたずねします。
 「笑顔で暮らせる香川」の実現に向けて展開している16～24の分野について、あなたの＜重要度＞を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※（）内の割合はウェイトバックした値

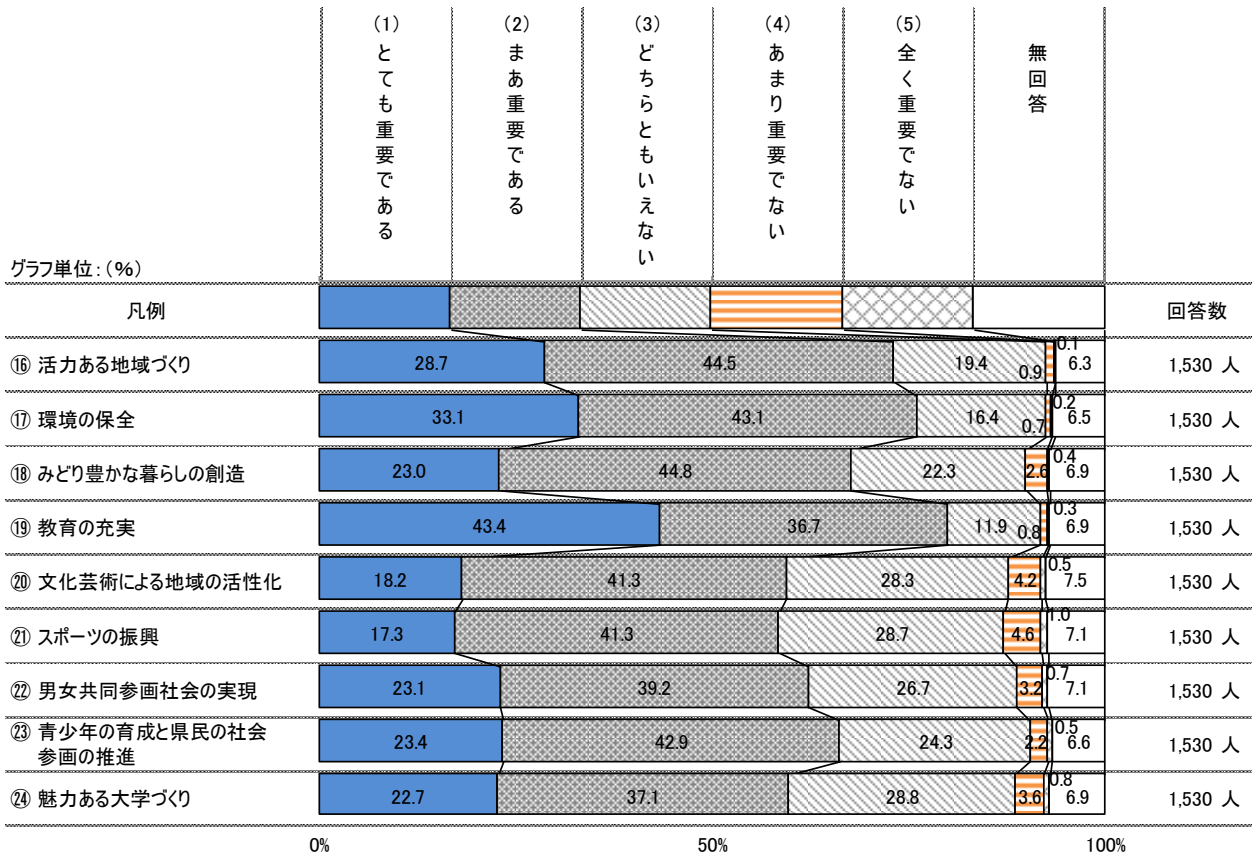
【回答者数=1,530】

分 野	重要度					
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	無回答
16 活力ある地域づくり	28.7 (28.7)	44.5 (44.4)	19.4 (19.5)	0.9 (0.9)	0.1 (0.1)	6.3 (6.3)
17 環境の保全	33.1 (33.8)	43.1 (42.3)	16.4 (16.6)	0.7 (0.7)	0.2 (0.3)	6.5 (6.4)
18 みどり豊かな暮らしの創造	23.0 (23.6)	44.8 (44.2)	22.3 (22.1)	2.6 (2.8)	0.4 (0.4)	6.9 (6.9)
19 教育の充実	43.4 (43.9)	36.7 (36.1)	11.9 (12.0)	0.8 (0.8)	0.3 (0.4)	6.9 (6.7)
20 文化芸術による地域の活性化	18.2 (18.7)	41.3 (41.0)	28.3 (27.8)	4.2 (4.4)	0.5 (0.5)	7.5 (7.5)
21 スポーツの振興	17.3 (17.7)	41.3 (41.0)	28.7 (28.4)	4.6 (4.8)	1.0 (1.2)	7.1 (7.0)
22 男女共同参画社会の実現	23.1 (23.5)	39.2 (39.1)	26.7 (26.4)	3.2 (3.2)	0.7 (0.8)	7.1 (7.0)
23 青少年の育成と県民の社会参画の推進	23.4 (23.1)	42.9 (43.0)	24.3 (24.5)	2.2 (2.4)	0.5 (0.6)	6.6 (6.5)
24 魅力ある大学づくり	22.7 (23.2)	37.1 (37.0)	28.8 (28.5)	3.6 (3.6)	0.8 (0.9)	6.9 (6.7)

「笑顔で暮らせる香川」の重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、「教育の充実」80.1%が最も高く、次いで「環境の保全」76.2%、「活力ある地域づくり」73.2%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、「教育の充実」80.0%が最も高く、次いで「環境の保全」76.1%、「活力ある地域づくり」73.1%などとなっている。

図表 6-(5) 笑顔で暮らせる香川 (重要度)



(6) 笑顔で暮らせる香川（満足度）

問39 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「笑顔で暮らせる香川」についておたずねします。
 「笑顔で暮らせる香川」の実現に向けて展開している16～24の分野について、あなたの＜満足度＞を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※（）内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】

分 野	満足度					無回答
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	
16 活力ある地域づくり	1.2 (1.5)	18.5 (19.1)	59.5 (58.9)	9.9 (9.9)	1.8 (1.9)	9.1 (8.8)
17 環境の保全	1.3 (1.4)	22.4 (23.4)	57.0 (56.2)	8.7 (8.5)	1.6 (1.7)	9.0 (8.7)
18 みどり豊かな暮らしの創造	2.2 (2.3)	25.7 (26.1)	55.4 (55.1)	6.2 (6.1)	1.2 (1.3)	9.3 (9.0)
19 教育の充実	2.3 (2.7)	28.0 (28.4)	47.3 (46.5)	10.3 (10.5)	2.2 (2.3)	10.0 (9.6)
20 文化芸術による地域の活性化	3.3 (4.0)	26.3 (26.7)	54.8 (53.9)	4.4 (4.3)	1.2 (1.2)	10.1 (9.8)
21 スポーツの振興	1.6 (1.8)	20.7 (21.2)	60.1 (59.3)	7.0 (7.2)	1.2 (1.3)	9.5 (9.2)
22 男女共同参画社会の実現	1.2 (1.5)	17.1 (17.5)	60.4 (60.1)	9.9 (9.8)	1.9 (1.9)	9.5 (9.2)
23 青少年の育成と県民の社会参画の推進	1.1 (1.2)	17.8 (18.3)	62.6 (62.8)	7.5 (7.0)	1.4 (1.4)	9.5 (9.3)
24 魅力ある大学づくり	1.0 (1.1)	15.1 (15.6)	60.5 (59.6)	10.7 (10.7)	2.8 (3.5)	9.9 (9.5)

「笑顔で暮らせる香川」の満足度について、すべての分野で「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合が、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】の割合を上回っており、特に「教育の充実」や「文化芸術による地域の活性化」、「みどり豊かな暮らしの創造」の満足度が高くなっている。

ウェイトバック集計した値においても、同じ結果となっている。

図表 6-(6) 笑顔で暮らせる香川（満足度）

